

1. 件名：「志賀原子力発電所 2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング (56)」

2. 日時：令和4年6月8日（水） 16時17分～18時40分

3. 場所：原子力規制庁 9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、鈴木安全審査専門職、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他9名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
敷地近傍の断層の評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
補足資料
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
データ集 1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV）
- ・ 敷地の地質・地質構造に関するコメントと対応方針について
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	はい、原子力規制庁のカイダです。
0:00:08	今日は北陸電力の志賀原子力発電所、
0:00:13	2号の敷地周辺の地質地質構造について、そのうちの敷地近傍の断層の評価ですね。
0:00:20	これをコメント回答に関する
0:00:23	ヒアリングをしたいと思います。
0:00:26	それでは北陸電力の方から資料の確認と、説明の方をお願いします。
0:00:34	はい。北陸電力の吉田でございます。本日はよろしくお願ひいたします。まず初めに資料の確認をさせていただきます。表紙ですね、敷地近傍の断層の評価コメント回答と書いたものが本資料となります。
0:00:49	その他補足資料とデータ集がございます。これは3点が審査資料として5、ご準備してございます。
0:00:56	その他に、としてですね先月20日の敷地内の審査会合でのコメントへの対応として、1枚ものがございます。この内容につきましては、この後、審査内容のをご確認いただいたあと最後にですね、
0:01:10	こちらから説明をさせていただきます。
0:01:13	また本日の参考としまして、過去からのコメントの一覧表もつけております。
0:01:19	それでは本資料に基づきまして説明をさせていただきます。まず目次の前に添付しました概要のページを説明し引き続き本文について説明していきたいと思っております。
0:01:31	説明は全体で45分から約50分程度を予定してございます。
0:01:36	それでは本資料の3ページをお開きください。
0:01:42	本日のご説明の内容でございます。当社は敷地近傍の断層の評価について、第1009回審査会合及び現地調査におきまして説明を行い、
0:01:54	その際のコメントを踏まえ、第1024回審査会合において、追加調査計画の説明を行い、
0:02:02	その後、データ拡充を行っております。本日は、審査会合及び現地調査以降に追加したデータを踏まえまして、
0:02:10	敷地近傍の断層の評価に関するコメント回答を行うものでございます。4ページと5ページを見開きでご覧ください。
0:02:21	4ページには、敷地周辺において、後期更新世以降の活動が否定できない。つまり活断層と評価した断層を、をマッピングしてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	5 ページの方には、敷地近傍エリアの評価結果の一覧を載せてございます。
0:02:36	なおこのエリアでは、活動性を評価した断層以外の文献断層やリニアメントとして判読しました。
0:02:43	A から E の断層の評価結果も載せてございます。この金の断層の評価につきましては、昨年 5 月と 10 月の審査会合で審議いただいております、
0:02:55	(1) の福浦断層の (エ) の長田付近の断層、
0:03:01	そして (4) の一番下、戸谷稔層の評価に関連して一部コメントをいただいております。
0:03:08	本日はこれらのコメントを中心に、ご説明いたしますが、特に福田断層につきましては、現地調査でも幾つかのコメントをいただいております、
0:03:20	1 月 14 日の審査会合で、追加調査の計画を説明しております。
0:03:25	その内容にですね、我々プラスした、プラスの調査をしてデータ拡充も行っております。
0:03:31	その内容についてです。6 ページと 7 ページを、
0:03:35	ご覧ください。
0:03:40	福田断層に関しまして、我々が行った追加調査の結果の概要を一覧表で示しております。
0:03:48	6 ページの方が、福良断層の南端付近の調査を、
0:03:53	そして 7 ページが、それ以外の調査結果としてまとめております。
0:03:58	文字ばかりですが次の 8 ページの方には、その位置図を載せてございます。
0:04:05	ですねここで 6 ページと 7 ページの表中の一番左の区分の欄、ご覧ご覧ください。
0:04:12	調査の内容としてはですねこの項目分、この区分で示します、大きく 6 項目の調査を行っております。
0:04:20	この内容につきましては、この後本文でですね、詳細を説明いたしますが、各項目の結果の概要を 9 ページ以降でそれぞれワンペーパーでまとめておりますので、
0:04:32	ここで、私の方から簡単に説明させていただきます。9 ページの方ご覧ください。
0:04:40	これは復路断層南部の断層トレースの確認の結果です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:46	福田断層等の、大坪側ダム付近、そしてその南東におけます詳細な断層の位置トレースを、
0:04:53	ボーリング調査、表土はぎ調査、反射法地震探査により、
0:04:58	確認いたしております。
0:05:01	ここでは、ボーリングコアや表土はぎ調査のデータの1例を載せております。
0:05:06	そして次の10ページには、断層スキームで実施しました4本の反射法地震探査や4測線の反射法地震探査の結果を載せておりますし、
0:05:17	次の11ページには、断層の止めを確認した地点のさらに南等で行いました反射法地震探査のデータも、
0:05:27	あわせて載せてございます。
0:05:29	結論といたしましては、福田断層南部の断層トレースを詳細に確認することができました。
0:05:35	また、これまで南端としていましたルートマップFと言われるラインですが、
0:05:41	そこでの表土はぎ調査の位置に、団体の位置は変更はございませんでした。
0:05:46	続きまして10ページを、
0:05:49	ご覧ください。
0:05:52	これは大坪がダムの基礎掘削面で確認したCMに関する調査結果の調査機調査の結果です。
0:06:01	今回、この断層断層をというふうに命名しております。
0:06:06	この断層をの延長付近も含めまして、ボーリング調査、そして表断調査、
0:06:12	そして段丘面の高度の分析、そして反射法地震探査、
0:06:17	等の結果から、この断層をの連続性活動性。
0:06:22	そして袋断層との関係について整理評価を行っております。
0:06:28	結果としまして、断層はですね連続性に乏しくで、福田断層よりも、想定的に活動が古い断層であり、後期更新世以降の活動はないものと判断、今回しております。
0:06:42	続きまして13ページの方をご覧ください。
0:06:47	ここはですね福田断層の上盤ん車番の両者後、地質の違いを確認したと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:56	いうデータの結果ですが、エックス線等々分析等を各種行いましたが、福田断層の上盤側、下盤側で、その岩盤の中で明らかな岩相の違いというのは今回は認められておりません。
0:07:12	続きまして 14 ページをご覧ください。
0:07:17	これはですね現地調査のいただきました大坪川ダム右岸トレンチ地点 A においてここで福田断層の活動履歴について検討を加えました。
0:07:28	検討の結果、この露頭では少なくとも、3 回の活動イベントがあったというふうに我々評価を今回しております。
0:07:36	続きまして 15 ページをご覧ください。
0:07:40	ここは福田断層の北端付近の追加調査の結果を示してございます。
0:07:47	ルートマップで確認された断層、A、これにつきましても現地調査で確認いただきましたが、この断層岩、
0:07:55	福田断層に対応するというを今回、再確認しております。また、北端と評価した位置で、穴水累層の岩相境界に、
0:08:06	広範囲でずれがないということも今回再確認しております。確認しております。
0:08:13	続きまして 16 ページの方をご覧ください。
0:08:18	これ最終形態なんです、福田断層の全体の断層トレースにつきまして、前回の評価会后、審査会合の時点のものと、今回確認したトレースを、
0:08:30	右と左で比較できるように並べておりますのでご参照いただければと思います。最終的には、
0:08:37	3.2 キロという長さにつきましては変更はございません。
0:08:44	続いて 17 ページの方は、コメントの一覧表で、その次に 18 ページには、
0:08:52	回答の概要も文字として追加してございます。
0:08:56	ここで 17 ページの中ほどに 16 番のコメントが白抜
0:09:02	次回以降の説明というふうになってございます。これは富井浦断層という断層に関するコメントですが、この断層は、富井岩波断層の
0:09:15	北端、北端の位置から、さらに、約 4 キロほど、4 キロほど北方にありまして、
0:09:22	また敷地からもですね、約 20 キロ近くを離れている断層でありますので、次回以降の敷地周辺の断層の評価の中でしっかり説明させていただいて考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	そうですね。本日の説明では、土肥岩波断層の北東、A ですね、北端付近の、
0:09:41	地質の状況、端部の状況については、しっかり本日説明させていただき、いただきたいというふうに考えております。
0:09:48	それでは引き続きまして、コバヤシの方から、本文の本文に沿って詳細を説明させていただきます。
0:09:57	堀クリニックの小林です。
0:09:59	21 ページ以降の資料についてご説明します。
0:10:02	まずは、第 1 章ですが、ほとんどが再建のため、変更点を中心に説明します。
0:10:07	47 ページをご覧ください。
0:10:11	47 ページの木須中の中央に記した福村断層のトレースにつきまして、
0:10:17	後程ご説明する追加調査結果を反映し、変更しております。
0:10:21	1 章については以上です。
0:10:24	次に、68 ページをご覧ください。
0:10:31	68 ページからが敷地近傍陸域の断層の評価結果。
0:10:35	69 ページからが福村断層の評価結果となります。
0:10:40	70 ページをご覧ください。
0:10:42	福浦断層の評価結果をまとめたページです。
0:10:45	追加調査等に伴い、評価を追記した箇所について、第 1009 回審査会合以降の追加箇所として、紫色で示しています。
0:10:55	統制評価の枠内の記載ですが、各調査で認められた黒田断層の傾斜角を新たに明記しており、右図①の受け手北方値の強度は B ボーリングで約 70 度、
0:11:08	右図②の反射を地震探査で、約 70 から 75° で西傾斜となります。
0:11:15	また、右図の④と示した、佃断層南部のエリアで、新たに会社を探査を追加し、
0:11:22	約 65° から 80° と高角で西傾斜する、東側と西側の方の断層を確認しております。
0:11:30	さらに、右図の⑤と示したエリアで複数のボーリング A 構造材を追加し、
0:11:35	東側と西側の 2 本の断層が確認できましたが、このうち、石賀の断層は、複数の時点で連続性が確認できるに対し、
0:11:43	東側の断層は、複数のボーリング孔に連続しないことを確認しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	また、これらの追加調査結果を含め、副断層は、N－S倉庫西傾斜の逆断層と推定されることを、下の方に明記しております。
0:11:59	防災評価としては、第 1009 回会合で、A 断層の北端と評価していた図中⑥の地点において、
0:12:07	地質踏査を追加し、
0:12:08	断層延長位置を挟んで、地質境界等にずれは認められないことを確認しました。
0:12:14	また、南端については、強度剥ぎボーリング調査により、西側の断層が南にすることを確認し、第 1009 回会合で淡々と評価していた受注⑦のエリアにおきまして、
0:12:27	ボーリング調査を追加し対応する断層が認められることを確認しました。
0:12:32	さらに、この方の図中⑧において、反射地震探査を追加し、
0:12:38	浦断層に対応する断層は推定されないことを確認しました。
0:12:42	断層長さについては、追加調査の結果を踏まえても、第 1009 回会合でご説明した約 3.2 キロと変更ありません。
0:12:51	なお、大坪はダム規則削減に認められたシームの調査結果ですが、右下に紫で記載の通り、
0:12:59	データを追加して検討しております。
0:13:02	次の 71 ページには、
0:13:04	踏査一覧表をまとめております。
0:13:08	72 ページ以降が詳細データとなりますが、
0:13:11	第 1009 回会合からの変更点について説明します。
0:13:16	まず、74 ページですが、
0:13:19	トレイ断層周辺の段丘面調査につきまして、
0:13:22	既存のデータの間を埋めて、
0:13:24	③14 から 37 地点を追加しております。
0:13:29	これらの視点は、資料後半の 195 ページ、211 ページにおける断層周辺のタニ試験に関する検討でも出て参りますが、そちらの方で、このページと視点番号は対応していないものがあったため、
0:13:41	195 ページ、111 ページの地点番号を 4 ページに合わせて修正しております。
0:13:49	次に、
0:13:50	77 ページですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:53	断層南部の追加調査結果を反映し、地質中の断層のトレースを修正しております。
0:13:59	次の 78 ページの地質断面図も、同様の修正を行っております。
0:14:04	以降のページに示した位置図にも同様の修正がなされております。
0:14:10	ページ飛びまして、87 ページをご覧ください。
0:14:17	17 ページ、こちらはコメント No. 2829 への対応として、
0:14:22	大坪阿南右岸トレンチの評価結果について、
0:14:25	グラフ切りの箇所を追記しております。
0:14:28	敷地内断層の審査すでにご説明しましたが、断層の主せん断面に沿って粘土鉱物が層状に分布し、繰り返し活動した構造が認められます。
0:14:39	また、砂礫層、砂層について砂れき層中の駅の
0:14:43	震度解析を新たに追加し、後段金一部面形成時の改正堆積物であり、
0:14:48	M I S 5 e より古い高海面期の地層と判断しました。
0:14:53	また、従来から分析結果を示しておりましたが、K - T z、A T 降灰層準についても、ホームページに明記しました。
0:15:02	次の 88 ページですが、
0:15:05	イベント No. 29 の断層活動がどこまでおよんでいるか検討するようにとのコメントを受けて、本トレンチにおいて断層活動が及ぶ地層に関する詳細検討を追加しております。
0:15:18	前ページで、赤色土壌に断層活動の影響が否定できないと評価しておりますが、
0:15:23	東條井野メーカー食土壌以浅の地層における変位変形の有無について検討しました。
0:15:30	その結果、6 日色土壌以前の地層は、地形面に沿って堆積し、
0:15:34	木曾、赤色土壌の基底面以深に認められる田上層の変形は読み取れませんが、
0:15:41	このトレンチが位置する地形面である、こういうランク 1B 面が、左下の図に青矢印で示すように、トレンチ等で確認された福浦断層の西上がりの変位と調和的に東側に傾斜しており、
0:15:54	傾斜が現在の地形面、地表面の形成に生じた可能性も考えられます。
0:15:59	これらのことを踏まえ、明褐色土壌を貨殖シルト層についても、断層活動の影響がおよんでいる可能性が否定できないものと判断しました。
0:16:09	次に、89 ページをご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:13	ここでは、福田断層の終戦断面沿いの層状構造について記載しております。
0:16:18	また、新たに右上の写真を追加し、
0:16:21	春木層中の利益が岩盤中にくさび状に落ち込み、その力が薬歴化して破断していることから、
0:16:27	田力層堆積後にも複数回の活動イベントが想定されることを記載しております。
0:16:33	91 ページをご覧ください。
0:16:38	礫層の深度計測を行い、平均CNOが約0.78で、本地域の改正堆積物と同程度に電話が進んでおり、
0:16:47	溶連菌1便形成時の改正堆積物で、
0:16:50	合意より古い地層と判断しております。
0:16:56	94 ページをご覧ください。
0:17:01	17、93 ページに示した、大坪川ダム右岸トレンチの調査結果に基づく、副断層の活動利益を検討しております。
0:17:10	主せん断面沿いの層状構造やくさび状に落ち込む力のパターンから、断層の複数回のイベントが想定されます。
0:17:18	また、施設のスケッチに示しましたように、砂れき層、砂層は、上下盤で層厚が同じであること。
0:17:24	また、図の横方向に赤点線で示しましたが、岩盤上面、砂礫層、砂層の上下盤の機構が約2から2.5メートルと同じであることから、
0:17:34	活動の①として、佐伯層砂層の堆積後に活動があったと考えられます。考えております。
0:17:41	また、図中の横方向のピンク色の点線で示しましたが、
0:17:45	適職土壌基底面の上下盤の比高は約1メートルで、
0:17:49	点線で示した砂層層理分上面の比高と比べると明らかに小さくなっております。
0:17:55	これより、赤色土壌形成前より前と以後にそれぞれ断層活動があったことが示唆されます。
0:18:02	これらのことから、②として、
0:18:05	赤色土壌の形成時からメーカー職での形成前に活動があったと考えております。
0:18:10	さらに、先ほどご説明したように、明褐色土壌や褐色シルト層には変形の形状は読み取れませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:17	地形面が東側の傾斜を示すことから、赤色土壌の変形よりさらに新しい時期の断層活動を示す可能性があります。
0:18:25	よって、③として、眼褐色土壌を圧縮する塗装の体系性に活動があったことが、
0:18:32	考えております。
0:18:35	次に、95 ページをご覧ください。
0:18:40	25 ページで、コメント No. 28 の断層の基礎データとなる断層周辺の地形地質の状況や、断層を挟んだ上下盤での地質の違いの整理というものに対応して、
0:18:51	1メートルセンターの地形図をベースにしたルートマップを、ホームページから99ページまで示しております。
0:18:58	その結果、断層付近の断層分布として、断層北部で火山砕屑岩、
0:19:03	南部で安山岩が卓越し、全体の傾向としては、断層を挟んで、岩相が大きく変化する状況は認められません。
0:19:12	さらに、ボーリング F K 湾 1 項や、
0:19:15	大坪和田の間トレンチにおいて、
0:19:17	断層上盤の X R D X R F 分析を行っており、
0:19:22	演出状況には一部で違いが認められるものの、
0:19:24	明らかな原案岩相の違いはされません。
0:19:29	その結果は、100 ページから 104 ページに示しております。
0:19:33	以上いくつ断層を挟んで上下盤で明らかな関数の違いを認められず、
0:19:39	断層活動による変位量の推定は困難であると判断しております。
0:19:44	なお、資料で一部訂正がございます。
0:19:47	101 ページに、S K 1 項のエクサル結果、103 ページに、大坪阿南右岸トレンチのエクサル結果を表に示しており、
0:19:56	これらをハーカー図としてプロットしたものが 104 ページとなります。
0:20:01	このうち、左の中央の M O、
0:20:05	縦軸にとった図、左下の N - S を縦軸にとった図について、
0:20:10	一部のデータにプロットミスがあり、前ページまでの表の数字と一致したものがあつたため、次回提出資料にて修正いたします。
0:20:17	申し訳ございません。
0:20:21	110 ページをご覧ください。
0:20:28	検証地震探査として、敷地内断層の審査でもすでにご説明しましたが、A 測線を追加しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:36	112 ページをご覧ください。
0:20:40	その結果、不明瞭ながら、
0:20:42	合格で西警させる School 断層を確認し、福田断層から地下浅部へ分岐派生するような構造は認められません。
0:20:52	113 ページからは、福浦断層南部に分布になります。
0:20:56	大坪はダム左岸付近において、福浦断層南部の分布を把握するために、ボーリング、表土はぎ、反射法地震探査を実施しました。
0:21:05	その結果、下図に赤矢印のついた記号で示しておりますが、東側の断層に対応する構造が反射法地震探査の B、C 測線、ボーリング OS 変更で認められ、
0:21:18	ガンホーの F1'、FD6、FD 参考。
0:21:24	ルートマップ A1 で認められなくなることを確認しました。
0:21:29	また、西側の断層については、これまで、砂防ダム右岸トレンチ等で確認しておりましたが、
0:21:35	新たに、B、C 測線、
0:21:37	S3 で施工
0:21:39	ルートマップ、I、FD8 傾向で認められ、
0:21:44	文案報の FD1 項、
0:21:46	ルートマップ F では認められなくなることを確認しました。
0:21:51	また、
0:21:52	ボーリングで見つかったその他の破碎部で、福浦断層に対応しないと判断したものについては、
0:21:58	いずれも連続しない構造であることを確認しております。
0:22:02	次の 114 ページ、115 ページでは、干渉地震探査 B、C 測線の深度断面及び遭難法のボーリング等の調査結果を入れた断面図を示しております。
0:22:16	66 ページでは、東側の断層に対応する破碎部を確認した OS 変更の調査結果を示しており、
0:22:24	リニアメント変動地形と対応した位置に分布し、走向傾斜が福村断層と調和的な固結した細部について、
0:22:31	断層東側に対応すると判断しております。
0:22:36	117 ページ以降ではそうなん方で、福田断層、東側が認められなかったボーリングの結果を示しております。
0:22:44	118 ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:48	L1'孔の破砕部について、これまでの審査では、未固結な角礫状破砕部で、走向傾斜が福田断層と調和的であること。
0:22:57	リニアメント変動地形にほぼ対応する位置に当たることから、福浦断層に対応する破砕部と判断しておりました。
0:23:03	第1009回会合以降に追加したCT解析結果からも、明瞭な面構造は認められませんが、低密度部が認められます。
0:23:13	一方で、F1'孔とほぼ同じ位置で追加したFD6個において、
0:23:19	当該破砕部の想定延長位置に破砕部は認められませんでした。
0:23:24	そして、隣接校であるFD6校に連続しないことから、F1'孔の破砕部は、
0:23:30	福浦断層に対応する破砕部ではなく、
0:23:32	周辺のコアで演出を受けた情報、状況が認められることを踏まえると、
0:23:37	Wallin沿いに水が通って変質を受けないしになったものであると考えております。
0:23:43	次の119ページでは、フリー6項、
0:23:47	120ページでは、FD参考の調査結果を示しており、
0:23:51	いずれも福田断層に対応する破砕部は認められません。
0:23:57	121ページに示したFDロックフリー参考の東側で実施しているルートマップDでも、
0:24:04	これ断層に対応する破砕は認められません。
0:24:09	122ページ以降は、今度は西側の断層に対応する破砕部の調査結果を示しております。
0:24:16	122ページが、S3'孔であり、
0:24:20	確認した粘土状破砕部について、コア写真棒はおる画像、CT画像で示しておりますが、
0:24:27	西側のリニアメント変動地形の延長意見あたり、走向傾斜がスクール断層と調和的であることから、
0:24:33	福田断層西側に対応すると判断しました。
0:24:38	123ページ、124ページはさ、それぞれ、さらに何法で実施したFDK藤8項の調査結果となり、
0:24:48	FDKでは、砂状破砕部、
0:24:50	FD8では、粘土状破砕部が認められております。
0:24:55	それぞれ後程ご説明するルートマップIの表題箇所で見つかった断層の延長位置に当たり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:01	走向傾斜が福浦断層と調和的であることから、福田断層西側に対応する破砕部と判断しております。
0:25:10	125 ページは、ルートマップ I における巨大調査結果となります。
0:25:15	左図に示した、先ほどご説明した北方の O S 3' 孔とガンホーの F D K で降り 8 孔の間の遅延となります。
0:25:25	これは、右図に赤枠で示した地点 1 において、北野大江さん合宿で確認した断層のほぼ延長位置で、
0:25:33	固結粘土を挟在する断層が認められました。
0:25:37	この断層は、副断層と総合傾斜が調和的であることから、
0:25:41	福田断層西側に対応する断層と判断しております。
0:25:46	次の 126 ページに、
0:25:48	フランスの西側に対応する箇所の写真とスケッチを載せております。
0:25:53	まず理想の岩盤中に断層を確認し、その走向傾斜は M8、
0:25:58	60MW で、
0:26:00	上村が認められ、厚さ 1 銭している粘土を挟在しますが、
0:26:05	看板業務では、風化変質の影響から、断層面が不明瞭となっております。
0:26:11	127 ページでは、帯磁率測定を実施し、
0:26:15	岩盤と堆積物について、肉眼観察と概ね整合的な結果が見られております。
0:26:23	128 ページから 130 ページでは、ボーリングで見つかった破砕部のうち、
0:26:28	佃断層に対応せず、連続性が乏しいとした破砕部について、確認結果を示しております。
0:26:34	連続性を検討した対象は、副断層と走向傾斜が対応する破砕部及び副断層と性状が類似する、個別な破砕部を伴うものとし、
0:26:44	いずれも連続性に乏しい破砕部であることを確認しております。
0:26:50	131 ページ以降は、反射法地震探査の結果となります。
0:26:55	131 ページに測線図を示しており、
0:26:57	黒田断層南部の分布を把握するため、B、C、D 測線の探査を実施しております。
0:27:04	その結果、B、C 測線についてにおいて、西側のリニアメント変動地形の延長位置に対応して、不明瞭ながら広角で西傾斜する反射面の不連続が認められ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:15	西側のリニアメント変動地形に対応する断層と推定しました。
0:27:20	また、同測線において、東側のリニアメント変動地形の延長方向にも思いながら、一部で広角で西傾斜する反射面の不連続が認められ、
0:27:29	東側のリニアメント変動地形に対応する断層と推定しました。
0:27:34	さらに、救う断層と敷地との間でD測線の探査を実施しましたが、
0:27:39	こちらでは、福田断層から分岐派生する断層は認められません。
0:27:45	次の132ページに、B、C測線の時間断面、133ページにマイグレーション時間断面、
0:27:52	134ページに深度断面、
0:27:54	135ページに新の断面に解釈線を入れたものを示しております。
0:28:01	さらに、より詳細な評価を行うため、B、C測線について、深度300メートル以浅を対象に、高周波成分を強調させて、浅部に特化した詳細解析を行っており、
0:28:13	その結果を次の136ページ以降に示します。
0:28:18	136ページの上の図が、B測線を仙石詳細解析を行った時間断面、
0:28:24	下がマイグレーション後の時間断面となります。
0:28:28	137ページに、心の断面と、それに解釈線を入れた断面を示しております。
0:28:34	先ほどの135ページの断面よりも、詳細な浅部の断面となっており、
0:28:38	西側東側それぞれのリニアメント変動地形の延長部に反射面の不連続が認められ、その量まで反射面列のパターンや傾斜の変化を伴っております。
0:28:49	次の138ページが、新測線を浅部詳細解析を行った時間断面とマイグレーション後の時間断面で、
0:28:58	139ページに深度断面と、それに解釈された断面を示しております。
0:29:04	こちらの詳細な浅部の断面において、東側リニアメント変動地形の延長部と西側のリニアメント変動地形に対応して、ダム右岸の喜多道路法面で断層が見つかる位置において、
0:29:16	それぞれ反射面の不連続が認められ、西側の不連続部では、その西側に反射面の系統的な西傾斜が認められます。
0:29:26	140ページ以降は、福浦断層と敷地の間を南北に走るD測線の結果となり、140ページに、時間断面、141ページにマイグレーション時間断面、
0:29:38	22ページに、深度断面を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:43	中盤面において、福浦断層から分岐派生する断層を示すような反射面の系統的な乱れや不連続は認められません。
0:29:54	143 ページ以降は、断層北端の調査結果となります。
0:30:00	146 ページをご覧ください。
0:30:05	146 ページの右図の右側のルートマップAにおいて確認された断層 a について、
0:30:13	現地調査にいただいたコメント No. 30 を踏まえて、変位センスを検討し、
0:30:19	P S も、断層と調和的であることを確認しました。
0:30:24	また、コメント No. 31 を踏まえて、
0:30:27	既存の露頭調査結果を補強するために、ルートマップD、E の周辺で、
0:30:32	地質踏査を追加し、断層の北方延長位置を挟んで、地層境界がほぼ同じ高度で連続し、
0:30:39	地層境界のずれが認められないことを確認しました。
0:30:43	このことは、ルートマップD の長大箇所を副断層の北端として評価したことと整合します。
0:30:51	以降のページで、これらの調整課の詳細を示しております。
0:30:56	147 ページには、ルートマップA の断層について、新たに逆断層センスと推定したことを記載しております。
0:31:06	次の 148 ページ以降にその調査結果を示しております。
0:31:11	48 ページの左図に示す位置で断層周辺のブロックを採取し、ブロック写真を右の上図。
0:31:18	地域ガードを下図に示しております。
0:31:21	C T 画像解析の結果、資料中央部のやや下盤側に低ミス分が認められ、その下盤側協会、
0:31:29	図中に赤字で示した位置から矢印で示した位置において、
0:31:34	ついて、主せん断面として抽出しました。
0:31:38	この施設せん断面において中 J - R の方向で薄片を作成しており、
0:31:42	その観察結果が次の 129 ページ以降となります。
0:31:49	149 ページに薄片写真を示しており、
0:31:53	次の 150 ページに記載したように、断層が履修に認められる粘土鉱物の定向配列から成る P M や、これらの配列を切断する微細が割れ目からなる。
0:32:05	割れ目である R 場面から、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:07	いわば上がりの逆断層センスを推定しました。
0:32:12	155 ページをご覧ください。
0:32:19	フリーマップD、Dにおいて、
0:32:22	追加で中央踏査を実施し、
0:32:25	地層境界の連続性の確認等を行っております。
0:32:29	ルートマップD、及びその周辺の実は穴水累層の安山岩質火砕岩からなり、
0:32:36	断層分布の特徴から、岩相変化の多い壱岐層と、変化の少ないみそに区分しました。
0:32:43	1層は、凝灰角礫岩、ためき凝灰岩溶岩を主体とし、泥岩を伴うゴソウ
0:32:48	理想は、溶媒御社愛し、火山礫凝灰岩を伴う均質な地層となります。
0:32:55	理想は、断層の北方延長域を挟んで、
0:32:58	フィールド交付金に連続して分布し、断層は認められません。
0:33:03	また、1層と2層の境界は、断層への北方延長域は3時、ほぼ同じ構造で連続します。
0:33:10	さらに、断層の北方延長位置で認められる層理の東西方向の傾斜はほぼ水平から22度東傾斜であり、
0:33:19	プール断層北方付近の広域的な地層の傾斜と概ね一致し、
0:33:23	断層の北方延長位置に近づくとつれて、層理が急傾斜となる傾向は認められません。
0:33:30	以上より、断層の北方延長域を挟んで、1層と2層の境界はほぼ同じ高度で連続し、
0:33:37	層境界のずれ等は認められず、
0:33:40	これは自分の評価において、ルートマップDの兵頭八木箇所を救う断層の北端と評価したとと整合します。
0:33:49	156 ページに、地層区分の考え方として、
0:33:52	1層、2層の区分について示しております。
0:33:56	157 ページにおいて、
0:33:59	左下の写真が1層の例。
0:34:01	右下の写真が二相の例となります。
0:34:06	158 ページに地質と地質断面図を示しており、断層は認められず、断面図において、
0:34:13	1層と2層の境界は、断層aの北方延長位置が3で、ほぼ同じ構造で連続しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	159 ページには、層理の走向傾斜についての検討結果を示しており、
0:34:27	ニーズに記入した層理の東西方向の傾斜はほぼ水平から 22 度東傾斜であり、
0:34:34	左上の地質に赤字で記入しております。
0:34:37	フランス北方付近の広域的な総務傾斜が 10 から 22 度東傾斜であることと、概ね一致します。
0:34:45	また、断層への北方延長位置に近づくとつれて、層理が急傾斜となる傾向が認められません。
0:34:53	160 ページには、参考として、ルートマップ D の岩盤中に認められた、陸上部の X R D 分析結果を示しております。
0:35:03	学部学上部では、周辺の母岩とほぼ同じ種類の鉱物が検出され、
0:35:08	本と比べて相対的に斜長石が少なく、スメクタイトが多いことから、
0:35:13	考案中で、比較的強く変質をこうむった箇所であると推定しております。
0:35:20	164 ページ以降は、
0:35:22	断層南端の調査結果となります。
0:35:26	167 ページをご覧ください。
0:35:32	ランタン部において、右下図のルートマップ F の分裂ボーリングを実施していた時点において、
0:35:39	新たに田上ボーリングである F D 1 F 2 を追加し、破碎部は認められないことを確認しました。
0:35:48	また、ルートマップ F の製法で、
0:35:51	斜めボーリングである、F D 457 を追加し、
0:35:56	浦断層に対応する破碎部は認められないことを確認しました。
0:36:01	さらに、売りの方において、左図に示した測線、F 測線の位置で反射法地震探査を追加し、
0:36:09	プレ断層に対応する断層は認められないことを確認しました。
0:36:14	170 ページをご覧ください。
0:36:20	この 10 ページの左上図に示したように、ルートマップ F において、浅井分裂ボーリングで、岩盤上面標高を確認していたエリアにおいて、
0:36:30	斜めボーリングの F D 12 を追加しております。
0:36:34	その結果、次の 171 ページから 175 ページに示すように、福田断層に対する破碎部は認められないことを確認しました。
0:36:46	178 ページをご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:51	78 ページの測線図の下の方に示しました B 測線 1 測線において、反射法地震探査を行いました。
0:37:01	179 ページに時間断面、
0:37:03	180 ページにマイグレーション後の時間断面、
0:37:07	181 ページに信用断面を示しており、
0:37:10	浦断層部の副断層の延長部において、スクラ断層、示すような、反射面の系統的な乱れや不連続が認められることを確認しました。
0:37:23	182 ページからは、大坪大賀ダム規則昨年に認められたシームの性状となります。
0:37:31	第 1024 回審査会合で、大坪アダム基礎掘削面スケッチをお示しした際にコメントいただいた、安山岩と凝灰角礫岩の境界に示された、
0:37:41	N E S W 方向、南東傾斜のシーム。
0:37:45	これは左下図で赤線で断層を示したものになりますが、この性状について、ボーリング調査行い確認しました。
0:37:54	その結果、左下に示した、
0:37:57	S 5、6、7、8 の 2 本のボーリングで、
0:38:02	安山岩と凝灰角礫岩の境界に破碎+で認められ、
0:38:06	いずれも N E S W 層厚担当経営者であり、当該シームに対応する破碎部であると判断しました。
0:38:14	以降このシームについて、断層をと呼称します。
0:38:19	断層の連続性活動性ですが、
0:38:23	大坪さらに断層に沿って直線的な崖地形が認められますが、
0:38:28	その区間は 200 メートル程度と、連続性に乏しく、また、断層を抜く当方で実施した反射を断層の結果、断層を東方に連続せず、
0:38:38	さらに弾性法で実施した戸崎調査の結果、檀西方に連続しないことを確認しました。
0:38:46	186 ページをご覧ください。
0:38:52	186 ページの B、B' 断面に示しましたように、断層を挟んで、大坪亜斗夢、坂と嵯峨に分布する高位段丘 I b 名に高度差は認められず、
0:39:03	また、A' 断面、D、E' 断面に示しましたように、
0:39:08	断層大野房延長及び南方延長域を挟んで分布する高位段丘 II 面及び 1 年でも、大戸さん認められません。
0:39:18	このことから、断層をの後期更新世以降の活動はないと評価しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:25	帰り 2 ページに戻っていただきまして、断層大戸福田断層の関係についてご説明します。
0:39:32	この 12 ページの左施設に示した各種調査による、副断層の確認書を結びと。
0:39:39	プレ断層は、
0:39:40	断層をの延長位置を越えて直線的に分布し、断層をにずらされておられません。
0:39:47	一方で、断層をに沿って認められる直線的な地形は、
0:39:51	福浦断層のリニアメント変動地形スキームでとらえています。
0:39:55	こちらについて、187 ページに調査結果を示しております。
0:40:03	187 ページの右図が、大坪ダム建設前の地形図となり、
0:40:09	断層をに沿って認められる。
0:40:11	直線的な崖地形が副断層のリニアメント変動地形付近で、
0:40:16	とらえていることが確認できます。
0:40:19	なお、この直線的な崖地形の成因に関しては、189 ページに記載しております。
0:40:28	地形の連続性が乏しいこと、ボーリング調査の結果、断層をの下盤側の安山岩は変質を受けており、軟質であることから、この崖地形は、岩盤の硬軟差を反映した。
0:40:40	差別侵食地形と判断しました。
0:40:43	また、下図で断層をの北東方向に福島状の地形がありますが、
0:40:48	これについては、その北西側に崩壊地形が認められることから、北西側の斜面から崩れ落ちた土砂によってできた昇給であり、
0:40:57	周辺が侵食によって削られて、取り残された地形と考え、考えております。
0:41:04	福嶋寮の地形の北東南西方向に同様な地形が連続して認められないため、この地形は断層をの活動に起因するものではないと考えております。
0:41:17	またページが戻りまして、186 ページをご覧ください。
0:41:25	先ほどご説明したように、断層を挟んで高位段丘 I b 面に高度差が認められるに対し、
0:41:32	C C ' 断面で示しましたように、
0:41:35	福村断層を挟んで分布する高位段丘 I b 面では、馬場側、南西側の暖気の標高が、下盤側に比べてやや高くなります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:44	以上より、断層の活動は、福浦断層よりも相対的に古いと考えられ、
0:41:50	断層の後期更新世以降の活動はないとの評価結果と整合的となります。
0:41:56	以上の評価結果をまとめたページが 182 ページとなります。
0:42:03	なお、断層をにつきましては、詳細性状を確認する目的で、確認観察等を実施中です。
0:42:10	現在、監査中ではありますが、確認での断層性状としては、福田断層で見られたような層状構造は認められないことを確認しております。
0:42:19	また、断層の性状を確認するため、
0:42:22	引き続きボーリング調査を実施しております。
0:42:25	これらの結果につきましても、次回提出中にてご説明したいと考えております。
0:42:31	以上が福浦断層の評価結果に関する変更点となります。
0:42:37	続いて、
0:42:38	229 ページをご覧ください。
0:42:47	229 ページが、長田スキーの断層の評価結果ですが、
0:42:52	右図の丸 2 で示した箇所の共同議長さんにつきまして、
0:42:56	第 1009 回会合でいただいた、整合境界に関する詳細データを示すようにとのコメントを踏まえて、
0:43:03	データを拡充しております。
0:43:06	237 ページをご覧ください。
0:43:12	237 ページの左図に位置を示した、表土はぎ①の結果につきまして、観察を追加しております。
0:43:21	結果が次の 238 ページとなります。
0:43:26	写真に示しますように、先郷層と穴水累層の整合境界を詳細に観察した結果、境界面をうねっており、草木固相は穴水累層を侵食する状況を確認できました。
0:43:39	以上が、長田付近の断層の評価結果に関する変更点となります。
0:43:46	244 ページをご覧ください。
0:43:53	244 ページ、戸川南岸断層について活動性評価の枠の 3 マル目、
0:43:59	反射法地震探査の結果につきまして、
0:44:02	認められた断層の傾斜角が約 60 であることを明記しております。
0:44:07	また、長さの評価のうち、区長さんにつきまして、第 1009 回会合において、今田付近の地質データで評価することの妥当性を説明するようにとのコメントを踏まえて、記載を拡充しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:21	この詳細が 265 ページ以降となります。
0:44:31	565 ページにおいて、
0:44:33	右下図に緑色で示したリニアメント変動地形の不東端から 6 A の間において、
0:44:41	地質データで断層の有無を追跡した考え方について整理して記載しております。
0:44:47	まず、リニアメント変動地形が山地閉境界に判読すること判読されることを踏まえ、
0:44:53	喜多図で①と書いた、山地部屋付近において、山地から部屋に流下する沢沿いに分布する露頭において、基礎地表踏査を行った結果、断層は認められません。
0:45:06	また、赤点線で示しました今泉ほか 2018 が示した。
0:45:12	番地部屋統括金及びその北東延長の産地における水系の屈曲ですが、
0:45:18	これらが示された澤井の中央踏査、ボーリング調査の結果、断層は認められません。
0:45:25	さらに、それより北野と井川沿いの沖積部屋に断層が伏在して、僕東方に連続すると考えた場合でも、
0:45:33	③に示した地点において、沖積閉を挟んで、地層の走向傾斜に変化は認められません。
0:45:41	また、その条例で、土肥案は大きく屈曲する 6 A においては、凝灰角礫岩が広く分布し、断層は認められません。
0:45:51	なお、土肥側の包含については、⑤に示した、
0:45:55	丘陵地が南側に張り出し分安山岩断層から想定される、南側隆起の地形とは異なることから、このエリアを断層が通る可能性が低いと判断しております。
0:46:07	以上の考え方により、よくより北東方向には、安山岩断層は延長しないと判断しております。
0:46:15	次に、270 ページをご覧ください。
0:46:21	6 A につきましてコメント出られている露頭データで十分に評価できることの説明性を向上するようにとご指摘をいただいたことを踏まえ、
0:46:30	右下に、富永の断層の走向と概ね直交する方向のために、
0:46:36	6 A の露頭データを投影した図を記載しております。
0:46:39	この結果から、プリン安山岩断層の想定延長位置をご覧して、
0:46:44	倒壊確率が乗る等が分布することを確認しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:49	以上が、鳥居南岸断層の評価結果に関する変更点となります。
0:46:56	300 ページをご覧ください。
0:47:03	300 ページが、菅松江の、
0:47:05	担当西岸の段丘面高度分布に関する調査結果ですが、
0:47:10	第 1009 回会合で、
0:47:12	敷地近傍の段丘面の経路の評価について、ばらつきを踏まえた評価を行うとコメントをいただいたことを受けて、評価をお願いしております。
0:47:21	敷地近傍の福浦湊からあぶや区間につきまして、これまでは中位段丘Ⅰ面及び高位段丘Ⅰa面に明瞭な傾動が認められないとしておりましたが、
0:47:32	今回、村杉字で示しましたように、
0:47:34	その右の方に示しております、赤間三崎から千野浦と比較して、
0:47:39	明瞭な経路は認められないが、知覧期 1 年の段丘面内縁標高に 10 メートル程度のばらつきがあること。
0:47:46	注意福村断層や兜岩沖断層が分布することを踏まえると、
0:47:50	これらの断層による変位を含む可能性も考えられると記載を変えております。
0:47:57	資料の説明は以上となります。
0:48:03	はい。
0:48:04	原子力規制庁のカイダです。説明ありがとうございました。
0:48:08	それではこちらの方から確認をさせていただきます。
0:48:14	まず私の方からで、
0:48:20	バック浦断層の評価ということで、
0:48:27	まず北端の評価のところで確認をさせていただきます。
0:48:34	100、
0:48:41	155 ページをお願いします。
0:48:48	で、
0:48:50	今回、岩相 A っていうのを追加調査して、は、断層っていうのは逆断層センスがあるということが確認されたので福田の一部でしょうと。
0:49:01	ということでその延長上のルートマップ D のところを、
0:49:08	当データを追加していただいたと。
0:49:11	ということでこれ現地調査で確認したように地層の境界が引けるんじゃないかとその分布をもって、横断してるっていうところを示してくださいと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:22	ということでこの 155 ページのような検討結果を示していただいたと、いうふうに考えてます。
0:49:28	それであるの、
0:49:29	ここで地層の一層の二相っていうのを分けているっていう。
0:49:35	これはもうこれで、現場でもそういった地層にいろんな違いがあるっていうところ。
0:49:41	確認したんですけれども、
0:49:45	と、
0:49:46	この分け方について、確認だけなんですけど 160 ページをお願いします。
0:49:54	160 ページのこの写真っていうのは、
0:49:59	写真 12 っていうやつですね。
0:50:03	これは写真の中でちょうど 1 層と 2 層の境界があるような、
0:50:09	位置にも見えるんですけれども、これはこの写真の中に境界があるんでしょうか。
0:50:19	はい。北陸電力驚見です。
0:50:21	そこ写真はですね、小磯店で言いますと、ちょうど境界ではなくてその少し上の二相の方。
0:50:30	失礼しました 1 層の方になります。
0:50:33	といいますのもこの 1 層の特徴としましては、凝灰角礫岩火山礫凝灰岩業界が主体として電話となるゴソウと。
0:50:40	というのが大きな特徴として考えておりまして、こちら写真中に見ていただきますと、
0:50:45	特に下の方ですとか凝灰岩が見えているんですけれども、中にこういう力がおっきい入ってしまして、こういうところからも、ゴソウとしての特徴を持っているのかなというふうに、
0:50:55	考えておりまして、ここでもう少し、この写真でいうと右側、西側の方に行きますと、こういうべきも含まないのはある程度均質な凝灰岩が出てきますので、
0:51:05	その部分を境界という形で、今回、1 層 2 層の強化として考えてございます。以上です。
0:51:13	はい規制庁のカイダさんわかりましたじゃ。
0:51:16	この写真見た時に写真位置と矢印を見ると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:21	いや、上にも下にも層理面みたいなのが見えて、一層二相っていうのは、違うのであれば、どういう分け方をしてるのかなというのをちょっと確認したかったんですがこれ
0:51:32	全部一掃ということで、
0:51:36	んであればちょっとこう、
0:51:38	人図がちょっとわかりづらいというか写真どっかでもいいんでこれは全部1層なんですっていうところを、
0:51:46	追記等しといていただければ誤解がないかと思うので、よろしくお願ひします。
0:51:53	はい承知いたしました。
0:51:57	はい。引き続きですけれども、
0:52:01	クーラー断層の
0:52:06	まずはちょっと反射法第3の結果のところから、
0:52:12	客食う。
0:52:14	7ページぐらいからですかね。
0:52:18	100、これ109ページ。
0:52:21	105ページ以降とかで、反射法地震探査の結果、
0:52:28	追加されたのが出てきているんですけれども、
0:52:32	これもちょっと敷地内との関係で確認だけなんですけれども、
0:52:38	敷地内の断層の評価で出てきた反射断面は、
0:52:45	強行-1200メートルぐらいで、
0:52:48	結構強い反射面があって花崗岩状面ですとそれが平に続いてますみたいな説明があって、
0:52:56	それなりに広がりがあるものかと思うんですけれども、
0:53:00	今回示していただいたやつでは、
0:53:03	それほどこのその1000メートルよりちょっと深いところに、
0:53:08	そういった強い反射面があるようにも見えないんですけれども、
0:53:13	それは見えてればその日、あれの広がりみたいなのところも敷地内敷地が含まれて、
0:53:20	間検討できればと思ったんですがこれ見えてないのは、何か探査の
0:53:26	震源の違いとか解析手法の違いとか何かその辺が違ってることでしょうか。
0:53:34	これからもこのコバヤシです。
0:53:36	衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:37	津久井市内で行ってございましたV S Pの社報探査で、確かに瀬口石井のところで、香川常務というものをいただいております。
0:53:46	で、今回、それがよく見えていないというのは、おっしゃったように、単社の探査の手法、仕様が違っております。
0:53:55	例えば、110ページの方見ていただきまして、
0:54:00	左の
0:54:03	方ですね。
0:54:05	文章探査の仕様を書いております。
0:54:08	ここで発振点受振点間隔なんですが、こちらの残差の場合は、3.125メートルということで、非常に密な間隔で行ってございまして、
0:54:19	これ
0:54:22	期間の
0:54:23	浅いところに、穴水累層の安山岩分布しておりますので、そういったところを細かく見て、
0:54:29	その中で、斜面の部分から、断層がどう、
0:54:34	通っているのかを推定したいという目的で行っております。一方で、敷地の方で示してございました探査の方では、
0:54:43	進展を50メートル間隔と非常に広げてございまして、もっと深いところを見ようという目的で行ってございました。
0:54:53	ですので、そういった探査の手法の違いでちょっと、今回お示ししている断面の方では、1000メートル深いところの、
0:55:01	そういった反射面が、
0:55:04	ちょっと対象深度が違いますので、見えていない。
0:55:08	横が見えていないということになります。
0:55:11	以上です。
0:55:14	はい。
0:55:15	規制庁の甲斐です。わかりましたじゃ
0:55:19	そうすると例えば何か解析の仕方とか、変えたりすると、見えてくる可能性もあるということなんでしょうか。それももう音源自体が、
0:55:31	違ってて、届いてないとか、そういうことなのか。
0:55:35	解析の手法によっては
0:55:38	その辺の危機感の広がりが出る。
0:55:41	かっていうところを確認したいんですが
0:55:46	過去頑丈面といったところはちょっと断層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:49	でもあったのでその辺りをちょっと気にしての確認なんですけれども。
0:55:55	はい北陸電力の小林です。
0:55:58	江藤。
0:56:00	見える可能性が
0:56:03	ゼロであるとは申しませんがなかなかちょっと難しいのかなというふう に考えておりました、
0:56:08	やはりその発し、発信受信間隔がかなりそこまでやっていると、いうこ とと、あと、発信エネルギーとしましても、やはり
0:56:20	そこまで使うところまで、ウナミがいくような、
0:56:25	強いエネルギーでは、やっていないというところがございまして、
0:56:31	ちょっとなかなか難しいかなというところは、現状の認識になります。 以上です。
0:56:38	はい。規制庁の甲斐です。わかりました調査の目的が違うのでそれは
0:56:44	同じような、
0:56:47	土俵での議論はできないということでその点は
0:56:50	後半の確認できました。
0:56:54	そして、引き続きですね、
0:56:59	513 ページをお願いします。
0:57:08	A、
0:57:09	と。
0:57:11	63 ページ。
0:57:14	これが南野南部の延長の調査結果の
0:57:20	まとめのような形での、
0:57:22	ページかと思うんですけども、
0:57:27	まずちょっとこの図の表示で、
0:57:29	見つかる断層確認位置っていうのは赤矢印で書いてあるというところ は、
0:57:35	わかったんですけども、
0:57:37	これF D8 も確認してるのにF D8 のところは、矢印が入ってないの は、
0:57:43	これは何でんでしょうか。D Q d、
0:57:47	あっちで、この並びのところでF D8 でも確認してた。
0:57:52	というふうにここに書いてあるんですけども、
0:57:55	これは記載漏れっていうだけでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:01	はい。北陸電力驚見です。
0:58:04	このF D - 赤のこの断層確認というのがですね、地表に上げてきた時にこのほとんどの、特に北のところだと、リニアメント変動地形は判読したところ、
0:58:16	2、
0:58:18	%点線の断層トレースというのを借りておまして、
0:58:21	基本的にはここに上げてきたときに、断層がどこに来るかというその位置を、この赤のトンボで示しておるというものでして、このF D八、九というのが上に上げてくるとほぼ同じ位置。
0:58:33	きますので、地方に上げるところの、
0:58:35	トンボが1ヶ所になるというそういう考えで、記載をしております。以上です。
0:58:41	北陸電力の稲村で少し補足しますと、115 ページ見ていただきたいんですが、
0:58:49	115 ページの真ん中の断面図、こちら側のF D8とF D級、
0:58:53	部分が見える断面図になっておまして、
0:58:56	この関係を見ますと、F D8、F D級、こういった位置関係になっておまして、これは同一の断層をとらえているというものですので、これは、これを地方に上げると。
0:59:07	今の114 ページで313 ページの地表トレースの赤い矢印の位置になると。
0:59:14	こういった関係のものを一つの赤矢印であらわしてると。
0:59:18	いった資料構成になっております。以上です。
0:59:22	はい規制庁の甲斐です。わかりました115 ページの図と比較して、どの深度のところを表示してるのかなというところも含めて確認したくて、
0:59:34	これも市場にそのまま通していけば、2本矢印が入るんじゃないかなと思ってたんですけども、
0:59:40	そうじゃなくて中央付近の、
0:59:43	それを企業付近に持ってきた時の、
0:59:47	一応表示してるってということだと。
0:59:52	いうことであればちょっと113 ページかどっかでもいいんで、
0:59:56	その旨をどっか注釈で入れておいていただければ、
1:00:02	頭へそうはないかなと思いますんで、
1:00:06	お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:09	承知しました。113 ページ等の赤矢印の範囲のところに、説明を加えたいと思います。以上です。
1:00:17	はい。規制庁の甲斐です。引き続き、確認なんですが、あと 113。
1:00:25	113 ページで確認したいんですが、
1:00:30	今回調査した結果で西側と東側の
1:00:35	どんと境界が少し変わって、
1:00:40	平行に行った上で、西側がずっと南の方まで延びて、
1:00:47	東山もちょっと手前で止まって、
1:00:49	最後はフルルートマップで止めてあるという説明かと思うんですけども、
1:01:00	ルートマップ1ってというのが、地表で確認した出そうかなと思うんですけどこの 113 ページでいくと、
1:01:09	ほぼ中央にある非緑色の四角の、
1:01:14	のところの地表で確認しましたってところなんですが、
1:01:20	今この
1:01:22	2 つに書いてある断層トレースってというのは、
1:01:26	当西側の断層でいくと、
1:01:30	西側の断層は、
1:01:35	大石さん。
1:01:37	で確認されてそれがルートマップ1に書くんで、
1:01:41	出てきたって解釈なんですけども。
1:01:45	これは S4 で見つかったやつが、
1:01:49	このなんかルートマップ1の方に来るっていうふうな、
1:01:53	解釈というか、そうじゃなくて、ここさんの方が、
1:01:58	繋がるっていうふうに、
1:02:00	解釈したっていうか、この辺の理由は、
1:02:03	あるんですか。
1:02:13	B 電力の木村です。
1:02:16	東側の
1:02:19	断層を確認した、S4、
1:02:22	でございますけども、その層厚を見ると、
1:02:27	南北、
1:02:29	N4° Wですかね。ていう方向でして、その方向で考えますと、このルートマップの方には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:39	いかないだろうと。で、
1:02:42	東側のリアルな変動地形から、
1:02:45	推定される断層の、
1:02:50	推定位置からする、しても、ルートマップ1ってのはちょっと位置がずれてますので、
1:02:56	東側の断層は、
1:02:58	ベース4から、その南側のF G'ですとか、F D6 といった、
1:03:05	こちらの方向に
1:03:08	続いていくというふうに推定しております。一方、S3'の方で確認した西側の断層については、
1:03:22	これも走向傾斜。
1:03:25	A M重度いいということで、
1:03:28	この方向で、
1:03:33	南側の方を追跡していくとちょうどルートマップ1の方に、
1:03:37	当たると、大江さん'とルートマップあいが非常に近い位置にありますので、
1:03:43	この
1:03:45	ベース3'とルートマップ1
1:03:48	で確認した断層は同一のものであろうということで、
1:03:52	これを西側の断層であるというふうに判断しました。
1:03:59	ということで、西側の断層は、S3'からルートマップ場合で、F D八、九というふうに、続いていくのに対して、東側の断層は、
1:04:10	S4で確認したものの、それより南側では、止まっていると。
1:04:15	いうふうに評価をしております。以上です。
1:04:20	規制庁の甲斐です。お考えは確認できました。
1:04:25	今層厚で繋いだっていうお話だったんですけど、例えば115ページを見ていただくと、
1:04:32	先ほどの'断面とかで、
1:04:36	同じ断層を別の行で貫くF D8とND9で、
1:04:42	もうこれでももう層厚で20度ぐらい違ってらるわけですね。
1:04:49	こういったぐらいに他のやつも見ても26台、20度ぐらいは
1:04:56	ぶれがあるっていうふうに考えると、
1:04:59	東側のS4は、
1:05:04	ルートマップ1の方に繋がって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:08	そのまんま南の方に、
1:05:11	伸びていくって解釈もなくはないというか、そういった解釈も成り立つ。
1:05:18	かなというふうにこの図を見てて思ったんですが、ちょうどその延長に、
1:05:23	F D 4 とか 5 とか 7 っていうのはあるんですけども、
1:05:28	ここの部分で、いや、ここにはないんだという説明がどうも見当たらないんですけども。
1:05:35	仮に
1:05:37	今こういった会派の平面解釈したトレースじゃなくて、
1:05:42	市側のと東側がこう、この部分で、
1:05:46	東側の分が S 4 $\sqrt{\pi}$ を通って南に行っても、P P B 457 っていうのはないかっていうのところは確認はされてますが、F D 457 っていうのはいかがなんでしょうか。
1:06:04	北陸電力木村です。
1:06:07	東側の断層の、
1:06:09	トレースは、仮にそのまんま南の方に延びていったとして、F D 八、九の方に繋がってさらに南の方に行ったとし、しましても、
1:06:21	F D 4572 の断層はありませんし、ルートがというふうにも断層は確認。
1:06:28	ないということを確認しておりますので、
1:06:32	いずれにしても、断層は、
1:06:35	止まっているということは、確認できております。以上です。
1:06:45	はい規制庁のカイダです。
1:06:47	それではですね
1:06:49	今ここん事業者さんが解釈されてされてるこういった時、断層トレースの考え方もある。当然あるっていうかこれが、
1:07:00	最もらしいってところも聞いててそう思うんですけども、層厚で 20 度ぐらいずれてぶれるってということも考えると、
1:07:09	東側のものは
1:07:12	S 4 からルートマップ、そして、南に行って F D 457 あたりに、
1:07:18	売るっていう、とりあえずもまかり仮にでも書けなくはないので、
1:07:23	そこにもないんですよっていうところをもうちょっと明示的に書くような説明をできますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:33	すいません。北陸電力吉田です。皆さんも少し確認なんですが、今おっしゃったように、S4、4 ですね、赤の、
1:07:41	断層確認してその南の今ルートマップIで確認したこの赤の、
1:07:47	二つ結んで地球を無視して、もう期間的にまっすぐ
1:07:51	南野に行くと、F D4 とか、
1:07:55	5 とか、そういう地形を無視してます。
1:07:58	行った場合の件、確認というそういう形でよろしいでしょうか。
1:08:04	はい規制庁の甲斐です。地形を見せてますかそこら辺がもともと鞍部みたいなどころがあるので、そこあたりで調査されてたと。
1:08:13	かなと思うので、4、
1:08:16	そのまんま、南の方に伸ばしていったところにもないんだというところは、説明をしておいていただきたいと思うんですけども、途中の部分で、
1:08:26	他にはないかもしれませんが、
1:08:30	2 ちょうど延長上の 457 でないということを確認してるのであれば、その説明を明示的にしていただきたいということです。
1:08:45	北陸電力藤田です。最終的にはこの F D457 のところでないということ は 115 ページの F ' 断面等で確認できますので、
1:08:56	まずしっかりそこはありませんってことを表記させていただいた上で、今の S4 からルートマップI 損ないのお考え方についても、
1:09:06	複数の考え方が、甲斐さんおっしゃるように、
1:09:10	あるという前提でいずれもたまるといったところはしっかり記載したいと思います。
1:09:17	はい規制庁の場合、そうですね私も今ここに書いてあるとりあえずの解釈が間違ってるんじゃないかっていうことを言ってるわけじゃなくて、別の解釈を、
1:09:27	もう仮にしたとしても、その南側でちゃんと止まってるっていうそういうデータがあるのであれば、それをちゃんと書き、4 号何もありませんよっていうところ。
1:09:37	わかるように書いていただきたいと、そういうことですので、よろしくお願いします。
1:09:43	赤堀藤尾です。我々のまず考えている評価をしっかりと書いた上で、それ以外の考え方にしたとしても、4 号炉 7 でしっかりとまっているとしたところをしっかりと記載します。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:00	はい。はい、じゃあ、お願いします。
1:10:03	それで
1:10:09	小俣南端のところで確認なんですけれども、これも確認っていうか 166 ページを、
1:10:18	お願いします。
1:10:26	166 ページに、
1:10:28	D'断面っていうのはあるんですけども、
1:10:33	これは以前から出てる断面図でD'断面の説明は、上のポツの二つ目で、
1:10:42	検査等はない、1B面に傾斜がないとかそういった説明が、
1:10:50	ありますんで、
1:10:53	確認したんですが 186 ページ。
1:10:58	お礼。
1:11:00	もう、
1:11:02	CC'断面、
1:11:05	これほとんどしなんかおんなじ場所を切ってるような、
1:11:09	うん。うん。
1:11:11	この方、感じなんですけどもこれ、
1:11:14	同じ場所なんですか。で、しかもちょっとこう、186 ページと 166 ページで、
1:11:20	本、
1:11:21	断面についての説明が、何か微妙に違うような書き方もされてるんですけども、これは同じ場所なのか。
1:11:29	ていうところと、違うのであれば何でこのおんなじ場所なのに、
1:11:34	ちょっと違うところを切ったのかとか、その辺の使い分けの仕方とか、考え方を確認したいんですけどもいかがですか。
1:11:44	はい、大久保向き合います。
1:11:47	186 ページのCC'断面と、166 ページのDD、Div a 集団名、これ、同じ段丘面を
1:11:57	対象に切った断面なんですけども、少し断面の切り方が異なっております、
1:12:04	166 ページの断面ですと、
1:12:10	二つの段丘面の高度差っていうのはなかなか不明瞭で、高度差があるという表現は用いておりませんでした、直線的に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:21	連続する逆入金の堤外というものが認められ、認められますので、それを地形要素として記載しておりました。
1:12:29	ただ、
1:12:31	断面の切り方を変えてみまして、186 ページの C C'断面、
1:12:37	IV、
1:12:38	見ますと、福浦断層を挟んで、
1:12:41	若干西側の段丘面の方が高い、若干の高度差は認められます。これ実際に空中写真を見てみても、
1:12:55	裏技を挟んで、日に島が若干高いという状況が認められます。
1:13:02	ですので、B'116、100、
1:13:08	86 ページの C C'断面と、166 ページの B'断面は、これほぼ同じ位置なんですけども、ちょっと切り方が違ってて、186 ページの方が少し、
1:13:19	藤堂さんは、
1:13:23	若干見えてきて見えているという、
1:13:28	断念となっております。以上です。
1:13:34	はい甲斐です。
1:13:37	もうちょっと聞き方を変えたらなんか大分印象が変わったっていうような、
1:13:43	ご説明だったと思うんですけども。
1:13:46	これはおなじ場所なのに、何かまた切り方を変えなければいけない。
1:13:52	ていうような、
1:13:54	何かその辺りは、目的が違うんでしょうか。
1:14:01	北陸電力の山名です。
1:14:03	166 ページ G の D 断面につきましては、C C 断面との比較ということで C C 断面を、
1:14:12	西側東側の傾斜維持 I b 面が東側傾斜している。
1:14:17	そういったものが、リーダー断面ではなくなると、こういったことを主張するためにもともとこの位置で切っておりました。
1:14:26	ただ今回もよくよくより詳細に高度比較するという観点で、改めて検討した結果、しましたところ、186 ページに書いてあります通り、
1:14:37	こういった位置で、改めてダウンを切り直して、
1:14:42	C C 断面には高度差が
1:14:47	ややある高度差があるということを主張すると、そういったことで 166 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:52	段を作った時というのはこの 186 年を作った時と少し目的が違ってお りまして、今回のその高度差ということに着目しまして改めて、
1:15:03	ニーズ置き直したと、そういった経緯となっております。以上です。
1:15:12	はい。
1:15:15	規制庁の甲斐です。わかりましたじゃ
1:15:19	そういった経緯があるということで、
1:15:23	確認しました。
1:15:27	で、186 ページの C C だし場面は、
1:15:31	ちょっと改めて確認なんですけど、他に挟んで高さが違うっていうとこ ろ言ってるだけで、
1:15:37	この
1:15:39	1、1B 面自体が何、何か敬三してるとかっていうそういう説明は入って ないんですね。
1:15:49	0 です。そうです高さの主張を 116 ページではしております。
1:15:58	はい、わかりました西じゃ
1:16:02	その点は確認しました。
1:16:08	上で、引き続き、
1:16:12	確認なんですけど、
1:16:15	その 187 ページ以降で、
1:16:18	断層をってものの検討をされてると。
1:16:23	ということで、
1:16:24	これは
1:16:26	特に活構造であるということを、
1:16:31	示唆するような、
1:16:32	状況がそんなにあるわけではないんだけど
1:16:36	大坪がダムの掘削面で、かなり直線的な、
1:16:41	断層が出てて、地形も直線的だっていうことで、
1:16:46	検討を、この
1:16:48	検討してくださいってことで、前回コメントしたところかなと。
1:16:54	一応説明等はされてるんですけども、
1:17:02	182 ページとかに、
1:17:09	今のご説明、
1:17:11	とあわせて
1:17:13	断層の直線的な地形が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:18	浦断層のリニアメント変動地形で途絶えて上流まで続かないという地形だけで、
1:17:26	今御説明なんですけども、
1:17:29	さっきまた追加で県調査等もされてるということだったんですが、
1:17:37	現状の話をちょっとお聞かせいただきたいんですが、
1:17:43	例えば、
1:17:47	114 ページの断面とか、
1:17:53	を見て、
1:17:56	今、
1:17:58	O S 4 行っているのが、
1:18:02	A、
1:18:04	浦断層を突き抜けてまだ下まで掘っていると。
1:18:08	で、断層ってというのは、南傾斜なんで、
1:18:13	うまくいけばこの S 4 とか、
1:18:16	ピック断層よりも向こう側ぐらいで、
1:18:22	出てきてる深度までいってるのか。
1:18:25	そこでもないっていうの確認とかできてるのかとか、その辺りの検討は、
1:18:30	特にされてないんで、それともこれはそこまで至ってないということでしょうか。
1:18:39	はい。北陸電力驚見です。
1:18:41	別府です。S 4、
1:18:44	深度で言いますと、- E L が - 20 メートルまで行っておりますけども、
1:18:49	今回
1:18:51	規則成分を使ったこのシーム断層をですけれども、その傾斜等含めて考えてみますと、S 4 ではとらえられない深度に出てくると。
1:19:00	いう形で確認しております。あとは S 4 にも、それに対応するものはないというのも併せて確認をさせていただきます。以上です。
1:19:09	はい、わかりました。
1:19:11	では
1:19:13	入れる人もちょっと金さらに薄片だとか、追加とかでされるということなんですけれども、
1:19:21	現状今、どういったことを考えられてるのかちょっと今資料がないので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:27	口頭での説明かなと思うんですけども、説明できる範囲で、
1:19:34	説明いただけますか。
1:19:40	はい。北陸電力鷺見です。
1:19:42	まず薄片といたしましては、今資料におつけしてさせていただいている、ボーリングで三つ、確認したこの断層をですね、こちらから薄片を作成しまして、
1:19:55	その性状等を確認してございます。
1:19:58	で、先ほど説明のところでもご説明いたしましたけれども、福田断層ですと、
1:20:05	断層ガウジの中に非常に密な密度でY面が平行にあると層状構造が見えるという説明をさせていただいておりますけども、そういったものは、見えないと。
1:20:15	いうことをまず確認しておりますので、それは次回以降ご説明させていただきたいと考えております。
1:20:21	またボーリングについてはですね、
1:20:24	今ほどのS4、例えば182ページの位置図見ていただきまして、
1:20:30	F5678というのが、
1:20:33	福村断層の
1:20:35	上盤側
1:20:37	でのシームの性状を確認するそういう位置でのボーリングになっておりますして、
1:20:42	今ですねS4、
1:20:44	もう小口から蒔田の方にボーリングを掘りますと、今度福田ダースの下盤側での断層の性状が見れると、そういう目的で、こちらの小口から
1:20:55	深谷断層の下盤側の断層の性状を見るという、そういう目的で今ボーリングを実施してございます。以上です。
1:21:02	あ、はい。規制庁の岡です。わかりましたじゃちょうど、さっき私が確認した上をS4でとらえ、とらえられているのかっていうところ。
1:21:12	そのあたり、
1:21:14	から、
1:21:16	福原断層を突き抜けてその先で、OSを断層があるかないか、あったらその性状はどうかっていうところも確認を今試みてるという、そういった
1:21:27	形でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:30	窪電力スモリです。はいその通りでございます。
1:21:34	北陸電力の山田です。今ほどカイダさんを福浦断層を突っ切ってというふうにおっしゃいましたが、
1:21:41	我々ターゲットにするのはこの福浦断層の東側と西側の間、間。
1:21:47	西側の福田断層の西側の下盤側を対象に
1:21:53	5-8 しておりますので、その辺のデータがデータが選べるわかりませんが、選び次第、ご説明したいと思います。以上です。
1:22:03	はい。規制庁の甲斐ですわかりました。
1:22:08	あとは9品については100、コアの写真とかが180485 ページにあって、
1:22:16	これ結構記載にしろ、この写真にしろ、
1:22:22	粘土状破碎部が、
1:22:24	結構 20 センチとか、
1:22:27	秋田松井 20、
1:22:30	粘土状破碎部学会熱いと。
1:22:33	あと破碎部自体も固結破碎部も、
1:22:36	40 センチとかぐらいあるような、
1:22:40	かなり具合断層よりも、なかなか、
1:22:44	見た目には立派なような、
1:22:46	ものに見えるので、このあたり、
1:22:51	どう検討するのかなというふうにも考えてたんですけども今は9年を、
1:22:56	されてるということで、これ全部されてるんでしょうか。4本とも、
1:23:05	クレックスのです。今作成している削減というのが、OSの185ページのベース7。
1:23:14	S8。
1:23:15	バックすみません少し誤記ありますけどもFDは地下でこれをS8の間違いで失礼しました。この二つのボーリング孔で、
1:23:22	薄片を今作成してございます。
1:23:25	以上です。
1:23:26	はい。規制庁の甲斐ですわかりました。ちょうど私も今、B8が大磯8じゃないかなっていうところと、あと、
1:23:35	S8の、
1:23:37	このCTでちょうど、何て言いますかね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:41	断層面に沿って、
1:23:43	C T 値が高い、何か鉱物脈みたいなものが、
1:23:48	見えるんですけども、
1:23:50	こういったところももうなんか、
1:23:52	当たりがついてるんでしょうか。何かあるもん何かあるというところが、
1:23:59	北陸電力スモリです。この白いものにつきましては、この位置でのX R D分析等も含めて、そちら今分析中なんですけれども、確認観察からは
1:24:12	その干渉色とかそういう薄片観察の場では、これかなという鉱物はまだは特定できてはおりません。以上です。
1:24:21	はい、規制見解ですわかりました。いずれにしてもちょっと今まだ、今試行作業中ということなのでまた
1:24:28	データがそろって、まとめ次第ここの、
1:24:34	断層については、ちょっと、
1:24:37	その分布と、化学的な性状とかの微細構造についてはまたお聞きしたいと思うので、
1:24:46	よろしくお願いします。
1:24:49	それで
1:24:50	186 ページにまた戻っていただいて
1:24:56	断面図を切りましたということで
1:25:00	採用願をつないで、断面図で
1:25:05	企画されてるんですけども、
1:25:08	これも今後の調査、次第っていうところもあるんですけどもこれもうちちょっとたくさん断面ってというのは、
1:25:14	切れないんでしょうかね例えばB ' 断面なんかも、
1:25:20	今、025 っていう方、方に向かっ 025 じゃないですけどそっちの方向に向かってきてるんですけども、
1:25:29	⑭っていうところあたりを起点にしてB、B'の、
1:25:35	B'は同じところで切るとか、あと、
1:25:39	A A'の、
1:25:42	すぐ隣にも、1B面があったりとか、そのさらにちょっともっと離れたところに、
1:25:50	これは南面だろう。
1:25:54	高位段丘三面っていうのもあるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:58	こういったところも全部木切って行って、平良ですよってというような説明ってというのは、
1:26:04	できないですかね。
1:26:12	はい、北陸電力鷺見です。
1:26:14	まず、この、今回このB'断面このような切り方をした目的としましては、井村さんおっしゃられた例えば、
1:26:22	このBから⑭のこの方向に、
1:26:26	この断面を切ると、シームもですけども福田断層を挟んで、の檀木部の比較になりますので、どちらの影響かというところがなかなかわかりづらい。
1:26:37	断面になりますので、この服を出すの上盤側でのシームの、
1:26:41	によるを挟んでの、
1:26:43	段丘面の高度差というものを見るために今回このB'断面、こういう切り方を、
1:26:48	したというのが、考えになります。
1:26:51	ですが、仲田さんおっしゃられたようないろんな断面に切ってみて、その全体を見ても、こういう会社ができるかというような書き方は、できないかという、検討して、次回以降、
1:27:02	説明させていただきたいと思います。以上です。
1:27:07	はい。規制庁の甲斐ですわかりましたまた地形だとなかなかこう、
1:27:13	浦断層、すらなかなか見えづらいっていうところもあるのでどこまでいえるかっていうところ。
1:27:19	なかなか難しいと思うんですけどデータがたくさんあって、説明できるにこしたことはないので、
1:27:27	お願いします。
1:27:29	今ちょっと、⑭のところは福田脱走んの宇和ば下盤挟むってというような話だったんですけども、
1:27:38	⑭、この場所でそのものは、ちょっとどこかは、あれなんですけど、
1:27:44	ここの段丘面って、
1:27:47	上盤側もう分布してたと思うんで上盤側同士での、
1:27:52	対比っていうのもできなくはないように思うんですけども。
1:27:57	その辺も含めてちょっと検討していただきたいなと思いますんで、よろしくお願いします。
1:28:06	承知しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:14	はいで、規制庁のカイダです。
1:28:21	ちょっと私ばかりで申し訳ないですけど
1:28:25	研ぎ側の方のちょっと確認をさせていただきます。
1:28:30	270 ページお願いします。270 ページは今回、趣旨説明を補強されたところなんですけれども、
1:28:40	ではこれ多分、
1:28:43	旧跡を部屋を挟んで、
1:28:46	南北で地層の姿勢に変化が認められないというところ、ちょっと明示的に書いたというところだと思うんですね。
1:28:55	これ 270 ページを見ると、
1:28:59	本、
1:29:00	文字ではそういうふう書いてある、あるんですけども、
1:29:04	隣の写真を見ると、
1:29:07	そのロケーションへの写真しかなくて、
1:29:11	致死地層の姿勢に変化はないっていう書いてあるこの、
1:29:16	走向傾斜をはかった病棟が多分何個かあるんですけど、右岸側側で、
1:29:23	この辺の写真なり情報っていうのがないんですけども、
1:29:27	これも走向傾斜とか測った露頭とかを、
1:29:32	写真でちゃんと、これも一つの根拠にするのであれば、つけておいていただきたいんですが、
1:29:40	よろしいですか。
1:29:43	はい、北陸電力の小林です。
1:29:46	今のコメントの
1:29:49	趣旨は理解いたしました。
1:29:51	で、ちょっとこちらのルートマップが長年踏査をやってきましたその積み重ねということになっておりますので、なかなかちょっと、
1:30:02	現状でどこまでしっかりがんが出せて綺麗な層理面が、写真が取れるかというのはちょっと不明確な部分あるんですが、できるだけ写真がとれるように、
1:30:14	ちょっと追加できるようにしたいと思います。以上です。
1:30:19	はい規制庁の甲斐です。そうですね
1:30:23	もう状況によって、もありますので全部が全部とは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:29	難しければやっぱり会社間でこの走向傾斜をちゃんと測ったんだというところが部署としてわかるような形で示していただきたいのでよろしくをお願いします。
1:30:41	あとこれ、
1:30:42	説明に関連して 265 ページなんですけど、
1:30:49	この右側の図ですね。
1:30:53	ええ。
1:30:54	平面図、
1:30:57	これは
1:30:58	ひょっとしたら間違ってるのかなと思いながら見てんですけど、
1:31:02	このロケーションって書いてあるこの辺の字の形の場所がありますで、次のページって書いてあって、
1:31:11	266 ページ次のページを見ると、6A のロケーションへの説明じゃない意味。
1:31:18	どこなんすかね。今泉他の 02 のところの説明に入ってるようなんですけども。
1:31:25	これはもし違ったらちょっと修正をお願いしたいんですが、よろしいですか。
1:31:30	小泉コバヤシです。今、ご指摘いただきましたようにこちら、すみません誤記となりまして、正確には、先ほど話がありました 270 ページに飛ばすのが、
1:31:42	正しいページとなっております。申し訳ありません、修正させていただきます。
1:31:50	はいよろしくをお願いします。
1:31:59	木藤規制庁タニです。
1:32:01	えっとですねちょっと戻ってもらって副断層を追跡していくボーリングでやりましたというところで、福浦断層に相当する、
1:32:12	対応する破碎部が認められないっていうのが、ちょこちょこ言葉として出てくるんですけど。
1:32:19	この辺のですね、何か判断っていうのが、
1:32:25	128 ページだとか 129 ページだとかに、福良断層以外の破碎部性状一覧って出てるんですけど、ここで何か判断されてるみたいなんですけど、何か、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:37	何て言うんすかね。言葉では、こう判断したんだなっていうのはわかるんですけど、例えば走向傾斜が福浦断層と異なるとかいうのは、
1:32:48	どういった違いがあれば、走向傾斜が違うってしてるのかだとか、
1:32:55	或いは
1:32:57	何か固結しており、福浦断層と性状が異なるとか、そういう話があるんだったら、一覧表には、
1:33:07	性状も含めて、何か出すべきかなっていうふうに思うんですね。だからその辺の何か判断根拠ってというのが、
1:33:17	しっかりとしたルールをもってやってるんだったら、ちょっとその辺のことを、
1:33:22	示していただかないと、何、何て言うのかな、正しいかどうかもわからないってところなんですね。この辺なんか、まず
1:33:33	ルールみたいなのがどうなってるのかっていうのは今資料上あるんですけど。
1:33:39	北陸電力の石田です。
1:33:41	今ほどの連続性の検討に関するメールですね、プールに関しましては、ちょっと今回の記載、資料には記載しておりませんで、申し訳ないけども次回以降これについては記載させていただきます。
1:33:55	このルールにつきましては、敷地内、
1:33:57	敷地内断層を追跡する際のルールに準拠しております、
1:34:02	総合傾斜が層厚で言いますと、ポーホールあたり±30° 傾斜で言いますと±15度以内であれば、福田断層と対応するというような考え方、考え方をしております。
1:34:18	また固結の性状ですね、固結または未固結のつきましては、
1:34:25	この128ページですと、※で、火砕物幅のところの下線部を引いておりまして、これについて未固結破砕部を伴うものに関しましては下線を引いているんですけども、
1:34:38	ちょっと表現がわかりにくいので、これに関しましては、各破砕部の性状がわかるようにもう少し工夫して示したいと思います。
1:34:45	はい。以上です。
1:34:48	谷です。はいお願いしますだから、正常にもうちょっと詳しくですね説明した上で、何年度がどれぐらいあるのかとかですね、或いは液状なのかだとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:59	その辺を、がわかるようにした上で、何かこういった評価をして欲しいのと、
1:35:06	あと何だろうね。
1:35:08	あとそうそうそう後継者を敷地のときに使ってるようなルールでやっていますってことなんですけど、本当にそれでいいのかなっていうような、
1:35:20	こともあると思うんですね要するに河内調査地点がこう離れたら本当にそのまま適用してもいいのかなとかいうのもあって、
1:35:29	例えば今、
1:35:33	今把握してる福良断層がどれぐらいばらつく走向傾斜なのかとか、それ以外の断層。
1:35:44	ていうのが、主いっばい断層新津断層じゃないのか破碎部ですか、破碎部っていうのをたくさん見つけてるってことなんで何か、シュミットネットとかで、
1:35:55	見せていただくとか、そんなことをすれば、
1:35:59	何となくわかるのかなというふうに、
1:36:02	思ってるのと、
1:36:03	あとは、ここに出てる。
1:36:08	ので全部何でしたっけ、128 から 130 に出てるので、
1:36:15	ボーリングで確認した破碎部は全部このページに入ってるってことでよかったですか。
1:36:23	北陸電力石田です。
1:36:25	先ほどの
1:36:28	総合経営者の敷地内断層のルールに準拠していいかという点も含めて、検討して、それについては、見せ方も含めて、
1:36:37	大きくして出したいと思います。
1:36:39	福田断層の破碎部の性状につきましては、こちらについては、福浦断層を確認しました。主に確認する目的で堀田を S - 123、三田市 4、
1:36:51	F D - 8、9 に関するものを、
1:36:54	地域しております。
1:36:55	A クラスの端部に用いています、F D - 3 ですとか F D - 6。
1:37:02	F D - 12457 につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:07	加来さんの写真を見せて、つけているページに、破砕部が確認されたものについては、同様に、福田断層に対応しないというような説明書きを足しております、
1:37:19	例で言いますと、
1:37:21	119 ページですとか、
1:37:28	これ F D6 項の例になりますけれども、こちら福浦断層に対応する破砕が認められないと、というような説明もありますけれども、一つだけ、破砕部、このボーリングが見つかってまして、①と、
1:37:41	右下に書いてありましてこの破砕部が走向傾斜として、
1:37:44	福田断層に対応しないというような説明を書かせていただいておりますけれども、
1:37:49	先ほどの一覧表には整理していませんので 1 ヶ所にまとめた方がわかりやすいと思いますので、こちらについては 1 ヶ所にまとめさせていただきますし、この説明書きにつきましても、先ほどの、
1:38:01	福田断層と違うということがもう少し明確にわかるような説明書きを出したいと思います。以上です。
1:38:09	谷です。はいよろしく申し上げます。あとはですね私この南部の調査って結構たくさんやって、確かに結果というのはですねこういったまとまりがまとめ、こういう結果でしたっていうのがすごくわかりますんで目的もわかります
1:38:26	表になっててですね。ただですね、わかりやすさの点で、これはあったらいいなっていう程度の話なんですけど、
1:38:36	北陸電力はコードどう考えてどういうこう考えてこの調査を進めているのかっていう、何て言うんすかねフロー図であったりなんかと途中判断したんだったら、そういう判断が、
1:38:48	どういう判断のもとこういった追加調査みたいな、配置をこうこ考えたのかとかいう、何かフローみたいなのがあって、なおかつ先ほど言ったような判断根拠みたいなのも、
1:39:01	何かこうまとまった資料があれば、わかりやすいんじゃないのかなって思ってみました結局、
1:39:12	113 ページとかで、こういった測線配置になった理由だとかですね、そういったのが、
1:39:23	よくよく考えてきつこうなんだろうなっていうような想像で私資料見たんですけど、何かその辺が本当に北陸電力さんの考えと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:33	合ってるのかとかですねそういうのもちょっと気になって、今のようなことを言ってるんですけど、どうですかね。
1:39:41	電力の植田です。
1:39:44	出井さん、1月の審査会合の調査計画の時にも少しご説明しておりますが、それ以降追加したボイラーですとかへりもありますので、
1:39:55	改めて、そういったもの、測線とかボーリングを配置した目的、
1:40:01	そういったものを整理して、次回の資料にお付けしたいと思います。以上です。
1:40:07	規制庁田井です。はい僕僕、私としてはこうなんかこう評価のフローみたいなのがあれば、より良いなって思ってて、それはどんな形であれ、いいと思いますのでできましたらお願いしますと。
1:40:21	いうところです。
1:40:22	あとはですね
1:40:25	木炭の種を見て思ったんですけど、
1:40:28	例えば、100、155ページだとかって、こういったデータを、これ、現地調査で、現地調査行ったときに、
1:40:39	地層の連続みたいなのも整理したされたら、より説明性上がるんじゃないのかみたいなのを言って、こういった調査してもらって、いや、なるほどなと思ったんですね現地で見たような。
1:40:53	状況が出てるんじゃないのかって思ったんですけど、これ。
1:40:57	同じようなことを喜多でできることは南出できないのは、何て言うんですかね地質の条件、
1:41:07	露頭条件で、きっとできないのかなというふうに思ったりしてるんですけども、同じようなことを普通ぱっと見ればですね南出もやればいいのになとか思うし、
1:41:20	南野
1:41:21	何ていうんすかねと、踏査結果っていうのはこの評価の中ではどう生きてるのかなとか、ちょっと思ったりするんですよその辺のところ、高温今なんか、
1:41:32	考え、考えというか何なんか違うんですかね、その労働条件が教えてください。
1:41:42	はい。北陸電力木村です。
1:41:45	浦断層の南の方の地質ですけども、
1:41:53	例えば99ページなんか見ていただきますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:59	ちょっと岩相全部福田断層付近の断層分布ということで示してますけども、
1:42:05	福田檀清の東側の西側の同じ安山岩、
1:42:10	でございます、北川のように、業界なんですとか、
1:42:16	凝灰角礫岩のゴソウですとかそういう、
1:42:21	連続性は追えるようなものがなくて、全体が安山岩でございますので、
1:42:29	村の方でできた検討というのはちょっと、北のほうで行った市富井層の地層の境界を持っていくというような、
1:42:41	検討はちょっと南の方では、できなかったと言うのは事実でございます。
1:42:47	以上です。
1:42:50	はい。谷です考え確認できました。だからですね多分僕も今話聞いて思ったんだけど、北尾北出、適切な評価っていう方法があって南南出。
1:43:03	こういう評価じゃないと駄目なんだよっていうのがきっとあるんだと思うんですよね。フロー、フローで、
1:43:11	で言ってるのはフローがいいのかわかんないですけど、その辺を何かかんがみて、こういう調査の違いがあるんだよとかいうのも、もしわかればですね。
1:43:21	理解は深まるかなと思います。これちょっとコメントです。
1:43:28	続いてですけども、
1:43:35	刀禰君なんかよくわかんなかったら 238 ページで、
1:43:42	これんのことコメント前回会合のコメントで、多分、
1:43:49	こういったところに地層境界がある、不整合があるっていうのは、いやきっとそうなんだろうなって思うんですけども。
1:43:57	あれ会合でこの辺をちゃんとこうなんて言ったんですかねもう少し詳細にデータを出してくださいっていうようなこと言ってるんですけども、これ何か写真がついてるだけで、
1:44:10	ですよ。んどどうしてここが、河内副正誤境界なのかっていうのが、
1:44:17	何か写真見てもですよ、いまいちわからなくて、
1:44:21	多分ここに線引くには線引くだけの理由があって、上と下がこういうこう違いがあるんだよっていうのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:29	あるはずなのになんて思いながら、線を引かれてるだけで、多分会合でまとめるのはこういうことを求めたんじゃないかと何が違うんですかって、
1:44:40	いうところんところも含めてですねもうちょっと細かく説明してくださいっていうことだと思うんですけど、これなんか敷地もちょっと細かく法ってたりするんじゃないんですか。
1:44:57	連絡済みです。
1:44:59	今回
1:45:01	拡大指針のこの部分のスケッチと、例えば言うと、とっておりません。ただいま谷さん言われた、言われましたような、こういう観点で構造が違っていると、こういう観点で見たときに、
1:45:14	進捗する状況というふうに判断したというところは、やっぱ観察結果として持っていますので、そういったところも丁寧に説明するような、
1:45:22	に資料に反映したいと思います。以上です。
1:45:28	金城タニですはいお願いします。私の方は、1点以上です。
1:45:41	規制庁のマツスエです。私の方はコメントというよりちょっとお願いというか、
1:45:48	116 ページですかね。
1:45:53	今回
1:45:54	新たに掘削されたボーリングのデータも
1:46:01	獲られたデータの整理とかかれて、コアも綺麗に取れてるし写真も綺麗なんですけどもボーホールテレビについてだけ、ちょっとお願いなんですけど、
1:46:13	抵当
1:46:16	66 ページのボアホールテレビだとこれ
1:46:22	パパ、アップダウンとかの記号がないと、次の 118 ページだと U p p e r が書いてあるんだけど、進藤芽萌里が、
1:46:33	数字が入ってないとかその辺だけちょっと。
1:46:37	せっかく綺麗な資料なので、
1:46:41	ノン落ちのないようにもう一遍精査していただければと思います以上です。
1:46:48	奥玲奈です失礼しました。これをしっかり提出するように資料、見直したいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:05	規制庁丹ですちょっとついでに確認しとくんですけど、これあれですかねF-1断層、F、F1'っていうのは、断層じゃなかったよっていう話をしてるんですけど、結論としては、
1:47:19	F1'の位置が悪く、
1:47:24	て言う断層ん価格の調査ですよこの調査でフジタF1'で、ここに断層が来るだろうというもくろみが外れてて、実際は、
1:47:35	西側が主になって、主になるというか南まで伸びてくるっていうことで、
1:47:43	見当違いのところ調査がされていて、本来こう断層が連続しているところで調査ができていなかったっていう、
1:47:53	いう結果っていうことですね。
1:47:56	そういうことでいいですね。
1:48:02	はい。北陸電力の木村です。F1'というのは我々このDランクのリニアメント変動地形、
1:48:13	を引いたこの位置に断層があると想定して、ここで掘削したんですけども、
1:48:20	今回の調査の結果、断層の位置は、この
1:48:25	2S I M M E Rにもあったと。
1:48:30	今回新たにボーリングで、西側の断層というもののトレースが、
1:48:35	確認できましたので、
1:48:38	F u j i i'
1:48:40	ちょっと位置が外れておりましたけども、それが今回の調査で明らかになったというふうに考えております。
1:48:48	以上です。
1:48:49	はい補足いたします奥野全国ヨシダです。
1:48:53	やはりですね、リニアメントまず普通の活断層調査のスタートは空中写真判読で、
1:48:59	リニアメントを読むと、そのリニアメントの位置に今度小さい調査に入ってボーリング等々で確認するという操作の作業を行ったんですが、やはりやっぱ、大坪側のトレンチもうちもそうです。
1:49:12	年度なるリニアメントのやはり周辺ですね、やはり変形が地表に来て少し触れたり、本当のメインのリニアメントから外れる可能性も、
1:49:22	ありますので、やはりもう少し幅広にやっておく必要があったとそれは結果論として言うことができます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:30	規制庁谷ですはい状況わかりましたそれで。
1:49:34	ここに断層があることがわかったことを踏まえて、
1:49:38	例えばそこに行って、
1:49:41	当社をもう一度こうこそういう目で見たらこの辺を通っているとか、そういういつて言うんですかね、ちょ、ボーリングを踏まえてさらにこうなんか、
1:49:53	地表での確認みたいなのはされているすかされていないですか。
1:50:05	るるです。
1:50:07	この西側の断層につきましてボーリングで確認したことを踏まえまして、地表踏査しまして、今回そのルートマップ i s
1:50:17	二瓶萩尾を行いました。そういったことから当然労力の結果を踏まえて、踏査を行いまして、今回その評価範囲も含めて西側の断層トレースを確定しております。
1:50:29	以上です。
1:50:31	井谷リース確認できました。これあれですか。やっぱりだから、当社をこう地表ばかり見ても、断層これ断層だっというような露頭は特に出てきてないくって、
1:50:43	ああいルートの場合ですか表土はぎをここで、もうねらってやった、そこで見つけたってというような話なん。
1:50:54	てことですかね要するに南の方まで、この断層が出てきそうなところを追いかけていってはいるけど、地表では確認できてないってことですか。
1:51:08	はい、古江です。そういう通りです。以上です。
1:51:15	はい。状況確認できましたけど、せっかくそういったことをしてるんだったら、何か書いてるんですかね
1:51:24	こういう当社も踏まえて、ルートマップ I を、
1:51:30	ねらってやって見つけたんだとかそうそういう何かやられたことは書いたらいいのになというふうに、
1:51:36	思うんですけど、
1:51:40	はい。その辺おまかせしますので、
1:51:43	北陸電力藤田です。先ほど調査のフローズ的なそういった話もありましたんで、我々当初がどう考えてどういうデータが出てくるとこういうことやりますっていう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:55	最後はこういった地表踏査も改めてやったとか、そういったところが全体わかるようなものを少し整理しますんで、よろしくお願いします。
1:52:04	井谷ですお願いします。
1:52:12	はい。規制庁甲斐です。
1:52:14	私の方からはちょっと追加でといいますか、細かいところなんですけども今ちょうど出たルートマップはの話で126ページ。
1:52:25	127ページを、
1:52:27	見ていて、
1:52:29	思ったんですけども、
1:52:31	これ地質が
1:52:34	両方とも④安山岩角れき質、
1:52:38	⑤安山岩角れき質となっていて、
1:52:41	おんなじ地質なのに④⑤で分けてるっていうのは、これ何か違いがあるんですかさっき
1:52:48	基地に違いがないっていう話もなんかあったりしたりして、この辺も、
1:52:53	違いっていうのは何か使い分け等されてるんでしょうか。
1:53:02	堀部のキムラです。④の安西の剥離気質都丸出野安西の学歴室ですけども、
1:53:09	少し
1:53:11	断層も2番、右側ですね、右側にあるのは、丸野安西の確立なんですけども、こちらの方は、少し変質の強い、
1:53:22	強いという状況が認められます。
1:53:26	その間違いから、④と⑤というふうに、
1:53:32	区別して記載しておりますが、どちらも安全の確立でございます。以上です。
1:53:42	はいわかりました。ちょっと変質の違いも含めて、
1:53:46	分けられてるという。
1:53:49	説明でしたね廃止。わかりました。
1:53:52	それとあとの、
1:53:54	断層が岩盤の上の辺りで不明瞭になってるっていうのを風化、強風化部というふうに、
1:54:01	書いてあるんですけどもこれ
1:54:06	実際もうこの部分っていうのは、
1:54:09	クリープとかしたりしてて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:12	藤山じゃなくなってるっていうな断層の流行って曲がってますし、そういった可能性はないんでしょうか。
1:54:30	規制庁の甲斐ですその辺もちょっと
1:54:34	そういった面でもそうであればそういうそういった記載の方が、
1:54:38	福田断層ほどの断層が
1:54:41	要素で何か非競争近くで不明瞭になるとなるとまた、それも
1:54:49	何か今までの説明と、
1:54:51	ちょっとあまり合っていないような気もするので、
1:54:54	この辺りもう1人であれば、もうすでにここは邪魔じゃないんだから、そういった、
1:55:01	そこまで判断できないのであれば、なくてももう少しこう、
1:55:06	何か表、
1:55:07	強風化部でも全然わかんなくなってるっていうのかをわかるような形で、
1:55:13	表現の仕方っていいですか、した方がいいかなと思いますけど、よろしい。その点また
1:55:21	検討の方よろしくお願いします。
1:55:24	北陸電力の羽田です。ノーリツの表彰金の監査ですがそういった意味で1度検討しまして記載の方の適正化を図りたいと思います。
1:55:35	以上です。
1:55:38	はい。規制庁の甲斐です。
1:55:40	あともう1点だけなんですけれども、先ほどの
1:55:45	断層をの追加検討でっていうことでボーリングもされてるということで、
1:55:54	場所にして言うと
1:55:58	まずはどこでもいいんですけど110。
1:56:01	3ページとかで、
1:56:04	S4あたりからちょっと北のほうに向かって掘っていくと。
1:56:09	いうことだと思うんですけども、
1:56:12	これ
1:56:13	仮に、SE78とか56で、
1:56:18	見つかった断層の、
1:56:22	超後継者を、
1:56:25	そのまま想定される位置に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:28	本記者
1:56:30	小浦断層西側にしろ東川にしろ、
1:56:34	その通り抜けたところでも、
1:56:37	まさにその想定延長位置に出てくるということになると、
1:56:44	クーラ断層。
1:56:46	もう跨いでそのまま分布してるっていうことになるわけですね。
1:56:52	復興断層というのはもう、ここ最近までも繰り返し結構何度も動いてるっていうことで、
1:56:59	仮に古い断層だったらもうんないっていうことになると思うんですけども、
1:57:06	その辺ちょっと、
1:57:07	も踏まえてですねもし、
1:57:10	負担金の想定位置に出てきたら、
1:57:13	いたしたらの福浦と同じか新しいものっていう。
1:57:17	形なる。
1:57:20	旧解釈も成り立つようにも思うんですが、その辺も含めてちょっとこの、
1:57:24	出てくる位置とかについては、
1:57:28	入念に検討とかしていただいて、また結果を説明していただきたいのでお願いします。
1:57:40	北陸電力藤田です。現在進行中のボーリングの結果につきましては、今おっしゃったような観点で当然我々も評価して参りますので、ボーリング結果を踏まえて、適切に評価してまたご報告させていただきます。以上です。
1:58:03	規制庁谷です何度もすみません。
1:58:07	北川の福田電装を薄片 149 ページで作ってて、これ
1:58:14	90 アールの
1:58:17	90 \$ の方向で薄片作成しましたって書いてあるんですけど、これ何で 90、
1:58:24	R 何でしたっけ。
1:58:30	北陸電力角です。
1:58:32	これはですね他の地点を
1:58:38	例えばですけども、80、
1:58:41	ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:43	プロジェクトの
1:58:47	F k 1 項のボーリングの家での、これ露頭のボーリングの確認したその傾斜の角度ですとか、他にも、大坪側がダムの上岸トレンチですとか、
1:58:58	そういったところで確認したデータですね、概ね高角というところで、
1:59:06	縦ずれ方向で、1、9 円を作成して、
1:59:11	フェンスを確認したと、そういう目的で 90 アール。
1:59:16	で確認してございます。
1:59:17	以上です。
1:59:21	規制庁タニ私ちょっと勘違いしてるかもしれないですけど、90 アールっていうと、
1:59:28	君塚に近い。
1:59:31	方向っていうことですかね。
1:59:34	これ高角度なんですよね。
1:59:37	丹野断層って言うてるの。
1:59:42	クレックスもです、90 アール鉛直という。
1:59:46	鉛直方向という。
1:59:48	意味でございます。
1:59:54	ちょっと私混乱してきました、ここで何かですね
1:59:59	何かこう断層の姿勢とか、もうちょっと関係あるん。
2:00:05	てことだと思んですけど何かこういう方向っていうのがわかるような、
2:00:10	何か模式図みたいな出してもらった方が誤解がないかな私ちょっと、多分、完全に今、お話を聞いて、誤解してる気がしましたので、
2:00:19	もうちょっと見てみます。
2:00:23	クリレックスもですね、今ご回答ないようにですねコアで、
2:00:29	道路等ですねどの方向というところがわかるようなものも模式図等を使いまして、わかるようなものと合わせて、
2:00:35	解説したいと思います。以上です。
2:01:08	はい規制庁のカイダです。
2:01:12	今ほどの敷地近傍の評価のコメント回答につきましては、こちらから
2:01:19	の方の確認は以上となります。事業者さんの方からも、
2:01:26	また何かあるかもしれませんが、まずちょっともう一つの方の、敷地の地質地質構造、
2:01:34	に関するコメントと対応方針についてと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:38	こっちの方をご説明いただいて、そのあとで合わせてっていう形をお願いしたい。まずこっちの資料の方の説明をお願いします。
2:01:52	はい。国分業務、堀連絡キムラです。それでは、前回の1049回審査会合でのコメントと、その対応方針についてというペーパー。
2:02:05	1枚もののペーパーについてご説明いたします。
2:02:09	1049回の審査会合で、いただいたコメント、我々、
2:02:16	この部屋に記載の三つ、126番から128番の三つのコメントにまとめさせていただきます。
2:02:25	まず一つ目は、抗うつ薬法による評価に関するコメントでございます、126番ですけども、
2:02:33	明確に鉱物脈は、最終の横断する状況が写真では見てとれない、下記の破片、下記の箇所について、
2:02:44	は既存の薄片の詳細観察、或いは新たに作成した薄片等を用いてより詳細に説明することと、
2:02:52	いうコメント。
2:02:54	を記載しております。
2:02:57	指摘いただいたのは、系統計18とSS6の、ここに記載の3ヶ所の発見になります。
2:03:07	コメントへの対応方針を右の方に書かせていただいております。
2:03:12	まずQ2のH-1.1の87校の配備につきましては、
2:03:19	この最新面の最新面1というものが、黒い怒涛黄色の井戸境界に見えるというようなご指摘ございましたが、
2:03:29	これについては、最新面1付近に分布する粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形がないことを、拡大写真等を用いて示して、
2:03:40	説明資料を充実させると。
2:03:42	ということ。それから、Q2の
2:03:46	別のボーリング孔で採取した、コアで作成した薄片を用いて、観察を行うということ、現在考えております。
2:03:57	それから98の設置の0.2の75校の発見②につきましては、
2:04:04	これは最新面と同じような方向に割れ目のようなものが見えるというご指摘ございましたけども、
2:04:11	この最新面の延長方向に認められる割れ目は、空気の部分において、粘土鉱物が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:17	当該箇所を明確に横断して分布する部分を拡大して示しまして、説明資料を充実させるということ。それから、同一孔のコアで作成した別の薄片の観察、
2:04:32	を行うということを考えております。
2:04:36	それから、S s - F の井野 8.5 の 2 項につきましては、
2:04:40	脈は、張り出しているんですけどもそのスケールが小さいというご指摘でございまして、これについては、同一孔のコアで作成した別の薄片の観察を行いまして、
2:04:53	説明性の向上が図られない場合、
2:04:57	は、この当該校の薄片を、活動性評価に用いるかどうかについては、改めて検討すると。
2:05:05	いうことを考えております。
2:05:08	続きまして、敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較に関するコメントの 127 番についてでございまして、
2:05:18	コメントの内容といたしましては、薄片観察において、福田断層の Y 面の不連続部が、敷地内断層の不連続部と異なることや、
2:05:30	不破断層の Y 面を挟んで粘土鉱物が分布する状況が、敷地内断層と異なることについて、改めてデータを示した上で、より詳細に説明することと、
2:05:41	いうふうにまとめさせていただいております。
2:05:44	そしてこれについての対応方針の方右の方に、加瀬書かせていただいておりますけども、
2:05:51	福田断層の Y 面の不連続部について、既存薄片を用いて、敷地内断層との違いの説明性の向上を図ると。
2:06:02	もう少し不連続部についてスポットを当てて、もう少し詳細な説明を行うということを考えております。
2:06:11	それから、福田断層の連続する外面を挟んで、粘土鉱物が分布する状況について、
2:06:17	これも既存薄片を用いて、敷地内断層で、
2:06:22	横断といている部分との違いについて、説明性の向上を図るということを今考えております。
2:06:32	それから最後に、計算についてのコメント、128 番でございまして、これについては、計算については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:39	他の資機材断層と見、見た目や性状が異なることから、含まれる鉱物等の違いの有無等を明らかにした上で、
2:06:49	掲載形成環境等の検討結果も踏まえた評価について説明することという、コメントとしてまとめさせていただいております。
2:06:59	その対応方針の方、右のほ欄に記載しておりますけども、
2:07:03	計算のNの2.3の1項、
2:07:07	これ審査会合のときに、干渉色が高い鉱物が出るということで、これはもしかしたら高温でできた鉱物かもしれないというご指摘がございました。
2:07:19	この絵の2.3-1孔の発見で、E P M A分析を実施して、
2:07:24	破碎部中に、より高温環境下で生成する変質鉱物がないかということについて、確認を行います。
2:07:32	その分析結果を踏まえて、他の敷地内断層と、
2:07:37	露頭ボーリングコア薄片での性状等の比較を行いまして、
2:07:42	形成環境や活動時期について、再度評価を行うと。
2:07:47	というような方針を考えております。
2:07:51	で、これいずれも調整期間といたしましては、7月末までに、
2:07:58	すべて完了するというふうに考えておりまして、
2:08:04	今、調査を行っているところでございます。
2:08:07	説明は以上です。
2:08:13	規制庁の甲斐です。
2:08:15	説明ありがとうございました。
2:08:18	今ご説明いただいて、コメント、三つほどに整理していただいて、
2:08:25	大体こちらの方から、前回ですか、会合で、
2:08:31	申し上げたところが、整理してまとめられてるんじゃないかなというふうに考えてます。
2:08:43	対応方針についても引き続きこれ
2:08:48	今やっていたいただきたいと思いますんですけども、
2:08:51	計算のところで一つ確認をさせてください。
2:08:57	計算については、
2:09:00	干渉色の高い鉱物が何かっていう話があってキセキじゃないかっていう話で、
2:09:09	いや、宇野力れん石じゃないかもしれないという話もあったんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:15	これ薄片で見ればその違いっていうのは、
2:09:20	特に、それから薄片とかを見てそれがどういった鉱物かっていうところは確認はすでにされてるんでしょうか。
2:09:31	北陸電力驚見です。
2:09:32	その教科での観察はあの会合以降コメントいただいて、しております、石渡先生おっしゃられた通り確かに干渉色が高い、非普通のキセキにしては少し高い要因は、
2:09:43	確かに見えるというふうに考えております。
2:09:46	そして、形として奇跡の形をしてないというふうにおっしゃられてましたのは、
2:09:53	天田は再利用が見えておまして、それによってちょっと引き延ばされたような形で、少し形が壊れている。
2:09:59	ではないかと。
2:10:01	観察結果から考えております。
2:10:05	E P M A 分析はですねまだ結果が出ておりませんので、観察結果からは、やはり力宴席かどうかというところは、ちょっとまだ
2:10:14	そので定量的な、その数値でどうかというところまではなかなか踏み込めて、結果を終えられているわけではございませんので、ちょっと何とも言えないというのがまだそういう状況ではあるんですけども、許可での観察では、
2:10:27	奇跡だとしても、そんなに、
2:10:30	おかしくないのかなというような力面積の可能性もあるけども奇跡だとしても、おかしくないのかなというような感触を持ってございます。以上です。
2:10:42	はい。規制庁の甲斐です。
2:10:44	わかりました。あそこの計算の説明というのは補足資料にあったんですけど、破碎流動という、そんなに深くないけれども柵もない場所でできたんだっていうのは検討。
2:10:57	結果が示されていてそれは
2:11:00	今ひとつ根拠の一つとして曹長石化してないっていうところが
2:11:06	根拠のその破碎流動っていうの根拠の一つになってたと思うんですが、
2:11:10	今回はここに書いてある説明の中で、
2:11:13	計算自体で、曹長石化してるかしてないかっていうのは今までは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:18	説明が他の説明がなくて、他のボーリング孔です。アルバイト化してないっていう。
2:11:26	そこを使ってたんですけど、
2:11:28	この計算で今回アルバイト化してるかしてないかっていう直接やってみるっていうのは、ここの分析の中に含まれているんでしょうか。
2:11:39	はい。連絡済みです。
2:11:41	あと、ご指摘いただきました軌跡が、あれから規制機関6年生かというところの分析はもちろんですけども、曹長石化。そういう観点で斜長石等確認もあわせて行おうと考えてございます。以上です。
2:11:56	はい。規制庁のカイダです。わかりましたじゃ
2:12:00	検討いただいてまた、
2:12:05	データ等出揃って、考察ができたならまた説明いただきたいのでよろしくお願い致します。
2:12:17	規制、規制庁の方からはですねこの今回のこの敷地の地質地質構造に関するコメントの対応方針についての、
2:12:27	確認は以上となります。
2:12:30	衛藤。
2:12:32	本日の先ほどの敷地近傍のお話と、今のこの敷地の式地質・地質構造の話含めて、
2:12:43	北陸電力の方から確認しておきたいと言うことがあったら
2:12:51	よろしくお願い致します。
2:12:58	北陸電力の藤田です。今日ご説明した内容につきましては当社の方からは、特に追加の確認事項はございません。
2:13:07	以上です。
2:13:11	規制庁甲斐です。はい、わかりました。でしたら、今日確認と、あと
2:13:21	確認したことをコメントしたことに対して、
2:13:26	Dた拡充等もされてるということですので、また県データが出揃って、
2:13:34	検討が検討して、
2:13:36	まとめ次第、また説明をいただきたいので、よろしくお願い致します。
2:13:43	おかなければ今日これ。
2:13:48	はい。
2:13:50	本日のヒアリングは終了します。
2:13:54	お疲れ様でした。
2:13:56	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。